

2019 年度
小学校外国語活動
年間指導計画
指導案例集

第6学年

单元1～单元7

2019 年 3 月
那霸市教育委員会

2019年度 外国語活動 6学年 年間指導計画 一覧表(50時間)

		指導目標		主な表現		主な語彙		主な教材	
4月	1	単元1	This is Me! ④	4	【慣】自己紹介を聞いて概要を捉え るとともに、好きな動物やスポー ツ、教科、食べ物などについて聞い たり言ったりしている。	I'm from(Okinawa) .I can(play soccer well).	動作 (running/singing). 誕生日(April 19th). color/subject/fruit/spo rt/animal	We can!2 Unit1	
	2				【コ】誕生日について聞いたり、 言ったりして自己紹介し合ってい る。	I'm good at (running). My birthday is(April 18th).			
	3				【コ】好きな月や季節、スポーツ、 教科、食べ物などについて尋ねたり 答えたりして伝え合っている。	What(color)do you like? What is yourfavorite(color/)?			
	4				【コ】自分のできることを伝え合っ ている。	When is yourr birthday?			
5月	5	単元2	When is your birthday? ④	4	【気】世界の様々な行事に興味を持 ち、月の言い方を知る。	When is your birthday? My birthday is March eighteenth.	月 (January,February, March,April,May, June, July,August, September,October, November,December) 序数 (first,second, ...,thirty first:自分の 誕生日)	Hi,Friends !2 Lesson2	
	6				【慣】日にちの言い方を知り、月の 言い方に慣れ 親しむ。				
	7				【慣】誕生日の尋ね方や答え方に慣 れ親しむ。				
	8				【コ】積極的に誕生日を尋ねたり答 えたりしようとする。				
6月	9	単元3	He is famous,she is great. ⑤	5	【慣】自分や友達について、日頃し ていることや趣味などの特徴を話し たり、聞いたりしておおよその内容 がわかる。	I[like/play](baseball). [have/want](anew ball). I eat(spaghetti). study(math). I can[swim/cook/skate/ ski/sing/dance].I can(play baseballwell). [He/She]is[famous/ great].	famous,nut,old, racket	We can!2 Unit3	
	10				【気】動作を表す語を読んで、好き なもの欲しいもの日頃することの表 現について語順に気付く。				
	11				【慣】好きなものやこと、欲しいも のなどの表現について語順を意識し て文を書き写そうとする。				
	12				【慣】ある人物の説明を聞いて、具 体的な情報を聞き取り、その人物を 説明したり説明を聞こうとしたりす る。				
	13				【コ】他者に配慮しながら、第3者 について伝え合おうとする。				
7月	14	単元4	I like my town. ④	4	【慣】自分たちの町のよさや改善点 を聞いて、その内容が分かる。	We[have/don't have] (a gym). We can(play basketball). I want a[library/ park]. (Sakura)is nice.	town, 施設と建物 (amusement park, aquarium, swimming pool, stadium,roller coaster,Ferris wheel) , but, so, nature, 動作 (dancing, jogging, playing,reading, shopping,singing, swimming)	We can!2 Unit4	
	15				【慣】自分たちの町のよさや改善点 を聞いて、その内容が分かる。				
	16				【コ】自たちが住む町の良さや改善 点について聞きその内容が分かると ともに、自分が住んでいる地域の 良さについて話す。				
	17				【気】地域にあってほしい施設につ いて話される英語を聞いて、意味が 分かるとともに、自分たちが住む地 域にあってほしい施設を伝え合う。				

9月	18	単元5	My summer Vacation. ④	4	【気】過去の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所を言ったり聞いたりすることができる。	I went to my (grandparent's place). It was(fun). I enjoyed(fishing). It was(exciting). I saw(the blue sea). It was(beautiful).	grandparent, vacation, 動詞の過去形 (went,ate,saw, enjoyed, was) 自然 (beach, mountain,sea,lake, river), 動作 (fishing,hiking, camping)	We can!2 Unit5
	19				【慣】過去の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所と食べ物を言ったり聞いたりすることができる。			
	20				【慣】過去の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだことを言ったり聞いたりすることができる。			
	21				【コ】過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだことやその感想を言ったり聞いたりすることができる。			
10月	22	単元6	What do you want to watch? ④	4	【気】スポーツに関する話を聞いて内容が分かるとともに、スポーツに関する好みや得意不得意について、聞いたり答えたりする。	What do you want to watch? I want to watch(wheelchair basketball n TV) Why? I like (basketball). (He)is goodat(playing tennis.) (He)is a great (tennis player).	TV,Olympic,games, Paralympic Games, スポーツ(wheelchair basketball, wheelchair tennis,athletes,climbing, archery,boxing, canoe,cycling, gymnastics,football, rugby,surfing,sailing, wrestling,weight lifting)	We can!2 Unit6
	23				【慣】オリンピック、パラリンピックに関する話を聞いて内容がわかる。			
	24				【コ】オリンピック、パラリンピックに関する話を聞いて内容が分かるとともに、観たい競技やしたいスポーツについて、聞いたり答えたりする。			
	25				【コ】観たい競技やしたいスポーツについて聞いたり、答えたりする。			
11月	26	単元7	Let's go to Italy. ④	4	【気】国名の言い方を知る。	I want to go to Italy. Where do you want to go? Let's go.	国名 (America, Australia,Brazil, China,Egypt, France,Greece, India, Japan, Spain) 動作 (eat,see)	Hi,Friends !2 Lesson5
	27				【慣】行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。			
	28				【慣】行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。			
	29				【コ】世界では様々な人たちが様々な生活をしていることに気づくとともに、自分の思いがはっきり伝わるようにおすすめの国について発表したり、積極的に発表を聞いたりしようとする。			
12月	30	単元8	What time do you get up? ⑤	5	【慣】動作や時刻の言い方を知る	I get up at seven. What time do you get up?	動作(get up, go to school/bed)	Hi,Friends !2 Lesson6
	31				【慣】動作や時刻の言い方に慣れ親しむとともに、生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現を知る。			
	32				【慣】生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。			
	33				【慣】生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。			
	34				【慣】 【コ】時差があることに気づくとともに、相手に伝わるように工夫して自分の生活を紹介しようとする。			

1月	35	単元9	My best memory. ⑥	6	【慣】過去の表し方が分かるとともに、学校行事について話を聞いて内容が分かる。	What's your best memory? My best memory[is/was](our schooltrip). We[went to (kyoto)/ate(Japanese foods)/saw(old temples) /enjoyed(the trip)]	best,memory, 学校行事(sportsfestival, entrance,ceremony, graduation,ceremony , swimimin g,meet,field trip,school trip,musicfestival, volunteer day, drama estival)	We can!2 Unit7
	36			【気】好きな行事が何か尋ねたり、答えたりするとともに、世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気づく。				
	37			【コ】世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気づくとともに思い出の行事について伝え合う。				
	38			【コ】世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気付くとともに思い出の行事について伝え合う。				
	39			【慣】小学校の思い出について、今まで写してきた英語を推測して読んだり、例文を参考に書いたりする。				
	40			【コ】小学校6年間の学校生活で1番心に残っている思い出を理由も含めて他者に配慮しながら伝えようとする。				
2月	41	単元10	What do you want to be? ④	4	【慣】様々な職業の言い方を知る。	I want to be a teacher. What do you want to be? I want to join the (basketball).	職業 (doctor,cook,farmer, florist,singer,fire, fighter,soccer,player, bus driver,cabin attendant,vet,zookeeper, comedian,baker,dentist, artist)member,term, club, join, junior,high	We can!2 Unit8
	42			【慣】【気】様々な職業の言い方に慣れ親しみ、職業を表す語について、英語と日本語の共通点に気づく。				
	43			【気】世界には様々な夢を持つ同年代の子供がいることに気付き、就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。				
	44			【コ】相手意識を持って自分の夢を紹介しようとする。				
3月	45	単元11	Junior high school life. ⑥	6	【慣】中学校生活の部活動についての話を聞いて、必要な情報を聞き取る。	I like(baseball). I want to join the (basketball team).What club do you want to join? I want to enjoy (spoetsday). What event do you want to enjoy? I want to (study hard).	member, team, club,practice,join,juni or,us,event,uniform,t est,whale	We can!2 Unit9
	46			【慣】中学校生活の学校行事についての話を聞いて、おおよその内容がわかり、入りたい部活動を伝えようとしている				
	47			【慣】中学校の先生たちについてのスピーチを聞いて、内容がわかるとともに楽しい学校行事を伝えようとしている。				
	48			【コ】中学校生活の部活動や学校行事について尋ねたり答えたりしている。				
	49			【コ】中学校での部活動や学校行事について伝えあおうとしている。				
	50			【慣】中学校生活の部活動や学校行事について、スピーチをしようとしている。				

6年－単元1

単元名 This is ME!

自己紹介 (we

can2

1. 単元目標

- ・自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどを聞いたり言ったりしている。【慣】
- ・自己紹介で自分の好きなことやできることなどについて伝え合おうとしている。【コ】
- ・他者に配慮しながら、好きなことやできることなどについて伝え合おうとする。【コ】

2. 言語材料

○I'm from(Shizuoka).I like(soccer).I can(play soccer well).I am good at(running).My birthday is(August19th).

My nickname is (Ken).What[colors/subjects/fruits/sports/animals]do you like? What is your favorite

[color/subject/fruit/sport/animal]? When is your birthday?

○from,nickname,running,speak,subject,bird

[既出]挨拶・自己紹介,色,動物,果物・野菜,飲食物,スポーツ,教科,月,序数,favorite

3. 単元計画（4時間）*指導書の「指導の流れ」では全7時間となっているが、4時間で構成している。

時	目標(◆)と主な活動(【】,○)【 】=誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	◆自己紹介を聞いて概要を捉えるとともに、好きな動物やスポーツ・教科・食べ物などについて、聞いたり言ったりしている。【慣】 【Let's Watch and Think】p.2,3 ・全体を1回通しで視聴した後、最初のMuhammadの映像だけを繰り返し視聴し、分かったことを書く。 【Let's Listen1】 p.4 ・自己紹介を聞いて分かったことを誌面に記入する。 【Let's Play1】p.4 ・グループになり、好きな動物や好きなスポーツ・教科・食べ物などを言う。 【Let's Watch and Think】p.2,3 ・Muhammadの映像を再度視聴し、自己紹介で紹介する内容について確認する。 【Let's Talk】p.6 ・ペアで好きな動物や好きなスポーツ・教科・食べ物を含めて自己紹介をし合う。 【アルファベットを書こう】	◎好きな動物やスポーツ・教科・食べ物などについて話している。 <行動観察・振り返りカード点検>

2	◆誕生日について聞いたり, 言ったりして自己紹介合っている。【コ】 【Let's Watch and Think】 p.2,3 - 全体を1回視聴した後, Sophiaの映像だけを繰り返し視聴し, 分かったことをSophiaのイラストのそばに書く。 【Let's Play2】Pointing Game p.5 - 指導者が言った月や行事を聞いて, 誌面にある絵をさし示して繰り返す。 ○Let's Chant Twelve Months(We Can!1Unit2) 【Let's Listen2】 p.5 - 歴史上の人物の誕生日を聞き取り, 誌面の□に記入する。 【Let's Watch and Think】p.2,3 - Sophiaの映像を再度視聴し, 指導者の質問に答える。 【Let's Talk】p.6 - ペアで, 誕生日を含む自己紹介をし合う。 【アルファベットを書こう】	◎自己紹介を聞いてその概要を捉えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎誕生日について聞いたり, 言ったりして自己紹介合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
3	◆好きな月や季節、スポーツ、教科、動物、食べ物などについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。【コ】 ○Small Talk : 好きな月や季節 【Let's Play3】p.6 - 月名を言ったり, 季節を答えたりする。 - 指導者の言うアルファベットの文字の名称を聞いて, それが何月かを教師用カード(月)あるいは, 児童用テキストp.5【Let's Play2】の月の単語を見て答える。 ○Let's Chant When is your birthday?(We Can!1Unit2) 【Let's Talk】p.6 - ペアになり, 好きな月や季節、スポーツ、動物、教科、食べ物や誕生日を尋ねたり答えたりする。 【Let's Watch and Think】p.2,3 - 再度4人が自己紹介をしている映像を視聴する。 【アルファベットを書こう】	◎好きな月や季節、スポーツ、教科、動物、食べ物などについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
4	◆自分のできることを伝え合っている。【コ】 【Let's Watch and Think】 p.2,3 - 映像を視聴し, 4人の子供が話す言語を通じて, 英語が世界で話されていることに気付く。 【Let's Play4】Pointing Game p.7 - 児童用テキストp.7で, 指導者が言う動作の絵をさし示し, 繰り返して言う。 ○Let's Chant Can you play the piano?(We Can!1Unit5) 【Let's Talk】p.6 - ペアになり, 自分ができることを, I can~.で伝え合う。 ○Sounds and Letters (c) 【アルファベットを書こう】	◎自分ができることについて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉

単元名 This is ME! 自己紹介 1/4時間

目 標 自己紹介を聞いて概要を捉えるとともに、好きな動物やスポーツ、教科、食べ物について聞いたり、言ったりして自己紹介し合っている。【慣】

準 備 教師用カード(動物、スポーツ、教科)、デジタル教材、児童用テキスト、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
・挨拶をする。 ○Small Talk:好きな動物または、スポーツ、教科、食べ物とその理由。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・まず、指導者が自分の好きな動物やスポーツとその理由を簡単に紹介し、その後、ペアで対話をさせる。	教師用カード (動物、スポーツ)
【Let's Watch and Think】 p.2,3 ・全体を1回視聴した後、Markの映像だけを繰り返し視聴し、分かったことをテキスト誌面Markのイラストのそばに書く。	Muhammad, Anastasia, Mark, Sophiaの映像を再度視聴させる。 ・Markの映像だけを再度視聴し、分かったことをMarkのイラストのそばに書くよう伝える。 ◎自己紹介を聞いてその概要を捉えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
○Let's Chant What do you have on Monday?(5年Unit3) 【Let's Play1】 p.4 ・グループになり、好きな教科を言う。 ・前時と同様に進める。	・まず1回聞かせ、どのような単語が聞こえたかを発表させる。聞こえた語を児童と確認してから、音声に合わせてチャンツを言う。 進め方 ・5～6人でグループを作る。円になって(座り)、伝えようと思う自分の好きな教科を決める。	デジタル教材 児童用テキスト
【Let's Watch and Think】 p.2,3 ・Markの映像を再度視聴し、指導者の質問に答え、自己紹介でどのようなことを紹介するとよいかを確認する。	自己紹介でどのようなことを紹介するとよいかを確認する。その際、以下のように指導者が質問をし、児童が答える形で行う。	デジタル教材
【Let's Talk】 p.6 ・ペアで、好きな動物または、スポーツ、教科、食べ物を含めて自己紹介をし合う。	・Markの自己紹介を真似て、ペアで自己紹介(自分が好きな教科を含む)をする。終わったらペアの相手を替えて(片方が移動)自己紹介を続けさせる。 ◎好きな教科について聞いたり、言ったりして自己紹介し合っている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉	児童用テキスト
・アルファベットを書こう。 ・振り返りをする。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて1～3文字程度書く。 ・感想を発表させる。 ・挨拶をする。	振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

単元名 This is ME! 自己紹介 2/4時間

目 標 誕生日について聞いたり、言ったりして自己紹介し合っている。【コ】

準 備 教師用カード(月)、デジタル教材、児童用テキスト、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
・挨拶をする。 【Let's Watch and Think】p.2,3 ・全体を1回視聴した後、Sophiaの映像だけを繰り返し視聴し、誌面のSophiaのイラストそばに、分かったことを書く。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・前時に聞いたMuhammad, Anastasia, Mark, Sophia の映像を再度視聴させる。 ・Sophia の映像だけ再度視聴し、分かったことをSophiaのそばに書くよう伝える。 ◎自己紹介を聞いてその概要を捉えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
【Let's Play2】Pointing Game p.5 ・指導者が言った月を聞いて、誌面にある月の絵をさし示して、月名を発音する。 ・先生が行事を言うのを聞いて、それに合う月の絵をさし示して月名を発音する。	・月の言い方を思い出させることがねらいである。	教師用カード(月) 児童用テキスト デジタル教材
【Let's Listen2】p.5 ・歴史上の人物の誕生日を聞き取り、誌面の口に記入する。	・誌面にある3人の歴史上の人物が誰かを確認してからデジタル教材で音声聞く。 ・5年生We Can!Unit2で学習した誕生日の言い方を思い出させることがねらいである。そのため、単に聞き取って終わりにせず、答えを確認した後、児童数名にWhen is your birthday?と尋ね、誕生日を言わせるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト
【Let's Watch and Think】 p.2,3 ・Sophiaの映像を再度視聴し、指導者の質問に答える。	・Sophiaの映像を再度視聴し、自己紹介でどのようなことを紹介するとよいかを確認させる。その際、以下のように指導者が質問をし、それに答える形で行う。	デジタル教材
【Let's Talk】 p.6 ・ペアで、誕生日を含む自己紹介をし合う。	・Sophia の自己紹介を真似て、ペアで自己紹介(誕生日を含む)をする。終わったらペアの相手を替えて(片方が移動)自己紹介を続けさせる。 ◎誕生日について聞いたり、言ったりして自己紹介し合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	児童用テキスト
・アルファベットを書こう。 ・振り返りをする。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて1～3文字程度書く。 ・感想を発表させる。	振り返りカード

単元名 This is ME! 自己紹介 3/4時間

目 標 好きな季節やスポーツ, 教科, 動物, 食べ物などについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。【コ】
 準 備 教師用カード(月, 季節), デジタル教材, 児童用テキスト, 児童用カード(月), 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
・挨拶をする。 ・ペアで対話をさせる。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・指導者が自分の好きな月や季節を簡単に紹介し, ペアで対話をさせる。 ・ここでは前時の復習として月名と季節を題材とする。	教師用カード (月, 季節)
【Let's Play3】 p.6 ・月名を言ったり, 季節を答えたりする。 ・指導者の言うアルファベットの文字の名称を聞いて, それが何月かを教師用カード(月)あるいは, 児童用テキストp.5Let's Playの月の単語を見て答える。	・児童用p.6の季節の絵と児童用カード(月)で絵合わせをするよう告げる。季節や月の言い方に慣れ親しませることがねらいである。 進め方 ・指導者は, 教師用カード(季節)を春夏秋冬の順に黒板に掲示する。 ・指導者は教師カード(月)を見せ, それがどの季節に合うかを尋ね, 児童とともに, すべての月を季節に分ける。 ・教師用カード(月)は黒板に掲示したままで, 月の単語の文字を言い, それが何月かを尋ねる。文字の名称の読み方に慣れ親しませることがねらいである。 進め方 ・指導者はある月の文字を言う。(単語をスペルアウトする) ・児童は, それが何月かを考えて答える。 ・単に文字に慣れ親しませるだけでなく, 児童に誕生日を尋ねるなど, やり取りをするようにする。	教師用カード (月, 季節) 児童用カード (月) 児童用テキスト
【Let's Talk】 p.6 ・ペアになり, 好きなスポーツ, 動物, 教科, 季節, 食べ物や誕生日を尋ねたり答えたりする。	・児童用テキストに自分のことを書いた上で, 隣, 前後, 斜めでペアになり, 好きなスポーツ, 動物, 教科, 季節, 食べ物や誕生日を尋ねたり答えたりするように指示する。 ・答えを聞いた際にNice.Sounds god.などと反応を返すよう促す。 ◎好きなスポーツ, 教科, 動物, 食べ物などについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
・アルファベットを書こう。 ・振り返りをする。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて1～3文字程度書く。 ・感想を発表させる。	振り返りカード

単元名 This is ME! 自己紹介 4/4時間

目 標 自分のできることを伝え合っている。【コ】

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
・挨拶をする。 【Let's Watch and Think】p.2,3 ・映像を視聴し, 4人の子供達が話す言語は何なのかを確認し, 世界の多くの子供達が英語を話すことができることに気付く。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・映像を通して視聴させ, 4人の子供たちが話す言語が何かを確認する。 - 未習語であるため, その部分は日本語で伝える。 ・ここでは, 多くの国の子供たちが英語を共通に話すことに気付かせることがねらいである。 ・Can you speak English? など, 児童達ができることについてやり取りをし, Let's Talkにつなげるようにする。	デジタル教材
【Let's Play4】Pointing Game p.7 ・児童用テキストp.7で, 指導者が言う動作の絵をさし示し, 繰り返して言う。	・指導者が動作の語を言い, 児童にその動作のイラストをさし示しながら語を繰り返させる。デジタル教材の音声を聞かせてもよい。	デジタル教材 児童用テキスト
【Let's Talk】 p.6 ・自分ができるとの英語での言い方を考える。 ・ペアになり, 自分ができるとを, I can~. で伝え合う。	・指導者が自分のできることをI can~ (wel). を使って言う。その後, 何人かの児童にCan you~? と尋ね, I can~ (wel). を使って言わせてみる。 ・その流れで, 児童同士で対話させる。 ◎自分ができるとについて伝え合っている。 <行動観察・振り返りカード点検>	
・アルファベットを書こう。 ・振り返りをする。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて1~3文字程度書く。 ・感想を発表させる。	振り返りカード

6年一単元2 単元名 When is your birthday? (Hi, friends! 2 Lesson 2
We can! 2 Unit 2)

単元目標 ・積極的に誕生日を尋ねたり、誕生日を答えたりしようとする。
・英語での月の言い方や、誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
・世界と日本の祭りや行事に興味をもち、時期や季節の違いに気付く。

単元評価規準 ・進んで誕生日を尋ねたり答えたりしている。
・月の言い方を聞いたり言ったりしている。
・誕生日を尋ねたり答えたりしている。
・時期や季節によって世界には様々な祭りや行事があることに気付いている。

表現 When is your birthday? My birthday is March eighteenth.
January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November,
December, 序数 (自分の誕生日)

単元計画 (4時間)

時	目標と主な活動	評価			評価規準<方法>
		こ	慣	気	
1	世界の様々な行事に興味をもち、月の言い方を知る。 【P 1】「日本の行事と月を線で結ぼう。」音声教材を聞いて、行事と月を線で結ぶ。 ○「キーワードゲーム」 【L 1】「世界の行事と月を線で結ぼう。」音声教材を聞いて、行事と月を線で結ぶ。 【C】“Twelve Months”				○ ・時期や季節によって世界には様々な祭りや行事があることに気付いている、<行動観察・振り返りカード分析>
2	日にちの言い方を知り、月の言い方に慣れ親しむ。 【C】“Twelve Months” ○「ミッシングゲーム」 ○「ステレオゲーム」 ○「誕生日の言い方を知ろう。」音声教材を聞いて、自分の誕生日 (日にち) の言い方を知る。 【P 2】「日付と何の日かを書こう。」行事の絵を見て、行事名と日付を考える。 ○「誕生日を言ってみよう。」				○ ・月の言い方を聞いたり言ったりしている。 <行動観察・振り返りカード点検> ○ ・月の言い方を聞いたり言ったりしている。 <行動観察・誌面点検・振り返りカード点検>
3	誕生日の尋ね方や答え方に慣れ親しむ。 【C】“Twelve Months” 【L 2】「誕生日はいつか、線で結ぼう。」音声教材を聞いて登場人物の誕生日を聞き取る。 ○「カレンダービンゴゲーム」月名でビンゴゲームをする。 ○「誕生日の友だちを探そう。」誕生日を尋ね、誕生日カードを渡す。				○ ・誕生日を尋ねたり答えたりしている。 <行動観察・振り返りカード点検> ○ ・誕生日を尋ねたり答えたりしている。 <行動観察・振り返りカード点検>
4	積極的に誕生日を尋ねたり答えたりしようとする。 【C】“Twelve Months” 【A】「友だちの誕生日を調べよう。」友達に誕生日を尋ねる。 ○「バースデーカードを届けよう。」バースデーカードを配達する。				○ ・進んで誕生日を尋ねたり答えたりしている。 <行動観察・誌面点検・振り返りカード点検> ○ ・進んで誕生日を尋ねたり、答えたりしている。 <行動観察・振り返りカード点検>

When is your birthday? 1/4 時間

目 標 世界の様々な行事に興味をもち、月の言い方を知る。

準 備 教師用絵カード (行事・月)、デジタル教材、(振り返りカード)

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Animal 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 Hi, friends! Plus
【Let's Play 1】 p. 6, 7 ・絵の一部からそれが何の行事か予想して答える。また、それが何月の行事か答える。 ・月の言い方を知る。 ・誌面の行事絵が、何月の行事か考えて行事と月を線で結ぶ。 ・「睦月」などのように日本にも数字によらない月の呼び名があることに気付く。	・教師用絵カードの一部を見せ、それが何の行事か、また何月の行事かを尋ねながら、その月を英語で紹介し、その月が誕生月の児童に誕生日を尋ねる。 ・日本での数字を用いない月の呼び名を知っているか尋ね、旧暦による日本の月の呼び名を確認する。 ・英語での呼び名の由来や、日本の旧暦での呼び名については、児童の気付きを促すように簡単に触れる程度に留め、ここでは詳しく説明したり探究的な活動を行ったりしない。	教師用絵カード (日本の行事・月) デジタル教材
○キーワードゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 5 参照) ・指導者が言う月を繰り返して言う。	・教師用絵カードを黒板に貼り、月の言い方を使ってキーワードゲームをすることを告げる。 ・キーワードを児童に決めさせ、月を言う。	教師用絵カード(月)
【Let's Listen 1】 p. 6, 7 ・世界の行事について、行事名や行われる月を予想する。 ・予想を確認するために、音声教材を聞き、月、行事、国旗の絵を線で結ぶ。	・誌面の行事が何であるか、またそれらが何月に行われるか予想させる。 ・どんな行事か確認した上で、音声教材を聞かせ、月、行事、国旗の絵を線で結ばせる。 ※評価	教師用絵カード (外国の行事・月) デジタル教材
【Let's Chant】 "Twelve Months" p. 8 ・音声教材を聞き、教師用絵カードを見ながら言う。	・教師用絵カードを黒板に貼り、音声を聞かせ、一緒に言う。	教師用絵カード(月) デジタル教材
【Jingle】 "Alphabet Jingle" ・アルファベットジングル (バージョン1) 音声教材を聞き、教師用絵カードを見ながら言う。	・教師用絵カードを黒板に貼り、音声を聞かせ、一緒に言う。	教師用絵カード (アルファベット) デジタル教材 We Can! 2
○「アルファベットを書こう。」 ・参考例にならって、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、3文字だけ書く。授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・挨拶をする。	振り返りカード

When is your birthday? 2/4 時間

目 標 日にちの言い方を知り、月の言い方に慣れ親しむ。

準 備 教師用絵カード (月), ワークシート③(誕生日シート), デジタル教材, (振り返りカード)

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Animal 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 - Hi, friends! Plus - 教師用絵カード (月) - デジタル教材
【Let's Chant】"Twelve Months" p. 8 ・音声教材を聞き、教師用絵カードを見ながら言う。	・教師用絵カードを黒板に貼り、音声を聞かせ、一緒に言う。	教師用絵カード (月) デジタル教材
○ミッシングゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 17 参照)	・教師用絵カードを貼りながら、月の言い方を確認する。 ・児童に目をつぶらせ、1枚の教師用絵カードを隠す。慣れてきたら、隠す教師用絵カードの枚数を増やす。	教師用絵カード (月) デジタル教材
○ステレオゲームをする。 (指導書 Hi, friends! 2 p. 17 参照) ・数人の児童が前に出て、各自、教師用絵カードから1枚選び、ほかの児童に見せないように持って1列に並ぶ。 ・持った絵カードが実際の誕生日月と違う月でも、しっかり言う。	・前の児童に、When is your birthday? と尋ね、前の児童は自分が持っているカードの月を一齐に答える。 ・慣れてきたら、ほかの児童も指導者と一緒に、前の児童に一齐に When is your birthday? と尋ねさせる。 ・指導者は答えを確認しながら実際の誕生日も尋ねる ※評価	教師用絵カード (月)
○「誕生日の言い方を知ろう。」 ・1～31の序数を聞き、ワークシートの数字に印をつける。 ・自分の誕生日を確認して言う。	・音声教材で、1～31の序数の言い方を順に聞かせる。 ・次に、序数の言い方を順不同に聞かせてワークシートの数字に印をつけさせる。 ・誕生日を尋ねて、確認させる。	ワークシート③ (誕生日シート) デジタル教材
【Let's Play 2】 p. 8 ・誌面の表中の行事は何の行事で、いつ行われるか考え、行事と日付を記入する。 ・音声教材を聞いて、答えを確かめる。 ・自分にとって大切な日を、誌面「あなたの大事な日」の欄に書いて発表する。	・誌面の表中の行事は何の行事で、いつ行われるか尋ねる。 ・音声教材を聞かせ、答えを確かめさせる。 ・「あなたの大事な日」は、誕生日などを自由に記入させ、発表させる。 ※評価	デジタル教材
○「誕生日を言ってみよう。」 ・教師用絵カードを見て、その月が誕生日の児童は立ち、自分の誕生日を My birthday is March eighteenth. などと答える。	・教師用絵カードを見せながら、言い方を確認する。 ・その月が誕生月の児童に When is your birthday? と尋ね、答えさせる。	教師用絵カード (月)
【Jingle】"Alphabet Jingle" ・アルファベットジングル (バージョン1) 音声教材を聞き、教師用絵カードを見ながら言う。	・教師用絵カードを黒板に貼り、音声を聞かせ、一緒に言う。	教師用絵カード (アルファベット) デジタル教材 We Can! 2
○「アルファベットを書こう。」 ・参考例にならって、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、3文字だけ書く。授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・挨拶をする。	振り返りカード

When is your birthday? 3/4 時間

目 標 誕生日の尋ね方や答え方に慣れ親しむ。

準 備 教師用絵カード (月), ワークシート①② (カレンダービンゴ・パースデーカード: あらかじめ切り離しておく), デジタル教材, (振り回りカード)

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Animal 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
【Let's Chant】"Twelve Months" p. 8 ・音声教材を聞き、教師用絵カードを見ながら言う。	・教師用絵カードを黒板に貼り、音声教材を聞かせ、一緒に言う。	・デジタル教材 ・教師用絵カード (月) ・デジタル教材
【Let's Listen 2】 p. 8 ・音声教材を聞いて、誌面の人物と誕生日を線で結ぶ。	・誌面の登場人物と記載されている誕生日の言い方を確認する。 ・音声教材① (3人の会話) を聞かせて、誌面の人物と誕生日を線で結ばせる。 ・次に、音声教材② (1人1人の自己紹介) を聞かせて確認する。	・デジタル教材
○カレンダービンゴゲームをする。 ・3×3のマス目に1から12までのうち9つの好きな数字をランダムに書く。 ・指導者に When is your birthday? と尋ねる。 ・指導者が言った月日を聞き、その月の数字があれば数字に丸をつけ、○に日にちを書き込む。	・ワークシート①を配布する。 ・同時にビンゴの場合は日にちの合計が多いほうが勝ちとする。 ・児童が When is your birthday? と尋ね、指導者が My birthday is ～. で答える。(実態に応じて、指名した児童に誕生日を尋ねたり、児童が教室内を動いて尋ね合ったりする形で行う。) ※評価	・ワークシート① (カレンダービンゴ)
○「誕生日の友だちを探そう。」 【活動の進め方】 ①パースデーカード (ワークシート②を切り離しておく) を各児童に2, 3枚配付する。各児童は、自分の誕生日を裏面に記入する。 ②カードを回収し、よくシャッフルし、再度各児童に、2, 3枚配付する。 ③各児童は、カードに書かれた日付が誕生日の人を見つけるために、カードを持って教室を自由に動き、誕生日を尋ね合う。 ④持っているカードに書かれた誕生日の友達を見つけたら、その友達の名前を To の欄に記入して、渡す。 ⑤指導者は、活動の終わりにカードを再び回収する。	・代表児童とデモンストレーションをして、やり方を理解させる。	・ワークシート② (パースデーカード)
※評価		
○「アルファベットを書こう。」 ・参考例にならって、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・振り回りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、3文字だけ書く。授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・挨拶をする。	・振り回りカード

When is your birthday? 4/4 時間

目 標 積極的に誕生日を尋ねたり答えたりしようとする。

準 備 教師用絵カード (月), ワークシート② (パースデーカード), デジタル教材, (振り回りカード)

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus シングル Animal 編)	・全体対峙をし、個別に数名の児童に対峙をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 Hi, friends! Plus
【Let's Chant】"Twelve Months" p. 8 ・音声教材を聞き、教師用絵カードを見ながら言う。	・教師用絵カードを黒板に貼り、音声教材を聞かせ、一緒に言う。	教師用絵カード (月) デジタル教材
【Activity】 p. 9 ・教室を自由に動いて、友達と誕生日を尋ね合い、各月の誕生日者を調べて、誌面の表に名前と誕生日を記入する。 ・月ごとの誕生日者を発表し合い、表を完成する。	・誕生日を尋ね合わせ、誌面の表に友達の名前と誕生日を記入させる。 ・全体で確認して、学級全員の誕生日を入れた表を完成させる。 ※評価	デジタル教材
○「パースデーカードを届けよう。」		ワークシート② (パースデーカード)
【活動の進め方】 ①前時に使った、児童名 (表) とその児童の誕生日 (裏) とが記入されたパースデーカードを、各児童に 2, 3 枚ずつ本人以外のカードが行くように配付する。 ②各児童は、カード表面にその友達のよいところやすてきなところをメッセージとして書く。また、自分の名前を From の欄に書く。(本時まで、ここまでの作業を各自にさせておいてもよい。) ③指導者は、各自にカードを中表に折らせて (児童名が見えないようにする) 回収し、よくシャッフルする。 ④指導者は再度、中表に折ったままカードを各児童に 2, 3 枚配付する。 ⑤各児童は、配付されたカードを開かず、カード裏面に書かれている誕生日の人を、When is your birthday? と尋ねて探す。 ⑥誕生日の人が見つかったら、Happy birthday. Here you are. と言ってその人に渡す。		
・もらったパースデーカードを読み、感想を発表する。	・いくつかのパースデーカードを紹介させ、次単元につなげる。 ※評価	
【Let's play 1】「Three-Hint Quiz」 ・三つのヒントを聞き、それに該当する行事を誌面から選んで発表する。	・日本地図にある行事などが何かを確認してからクイズを行うとよい。 ・季節や月の言い方を確認する。	デジタル教材 We Can!2 (Unit 2) p. 10, 11
○「アルファベットを書こう。」 ・参考例にならって、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・振り回りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、3 文字だけ書く。授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・挨拶をする。	振り回りカード

6 年一単元3

単元名 He is famous. She is great 人物紹介 (We can! 2 Unit3)

1.単元目標

- ・他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとする。【コ】
- ・自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。【慣】
- ・文の語順に気付く。【気】

2 単元評価規準

- ・【コ】他者に配慮しながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や表現を用いて伝え合おうとする。
- ・【慣】自分のことや身近で簡単な事柄について紹介したり、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や表現を用いて書こうとしたりする。
- ・【気】自分の考えや気持ちを表す文について、「主語＋動詞＋目的語」の文の語順があることに気づく。

3 表現

○ I am (Ken). I [like / play] [the violin / baseball]. I [have / want] a new [recorder / ball]. I eat (spaghetti). I study (math).
I can [swim / cook / skate / ski / sing / dance]. I can (play baseball well). Who is this? [He / She] is [famous / great].

○ famous, nut, old, 身の回りの物 (racket), jungle

[既出] he, she, 動物, 飲食物, スポーツ, 身の回りの物, 教科, 動作, 状態, 気持ち

4 単元計画 (5 時間)

時	目標と主な活動				
		コ	慣	気	評価規準＜方法＞
1	◆自分や友達について、日頃していることや趣味などの特徴を話したり、聞いたりしておおよその内容がわかる。 (WC2-U3) 【Let's Watch and Think 1】 p. 18, 19 【Let's Play 1】 p. 18, 19 【Let's Play 3】 p. 20, 21 【Let's Talk】 【Sounds and Letters】 「アルファベットを書こう」	○			◎自分や友達について、日頃していることや趣味などの特徴を話したり、聞いたりしてわかろうとしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
2	◆動作を表す語を読んで分かり好きなもの、欲しいもの、日頃することの表現について語順に気付く。 「Small Talk」 (WC2-U3) 【Let's Listen 1】 p. 24 【Let's Play 3】 p. 20, 21 【Let's Watch and Think 2】 p. 22 【Sounds and Letters】 「アルファベットを書こう」			○	◎表現について、「主語＋動詞＋目的語」の語順に気付いている。〈行動観察・振り返りカード点検〉

時	目標と主な活動				
		コ	慣	気	評価規準＜方法＞
3	好きなものやこと, 欲しいものなどの表現について語順を意識して, 文を書き写そうとする。 (WC2-U3) 【Let's Play 3】 p. 20, 21 【Let's Watch and Think 3】 p. 23 【文を作ろう】 p. 20, 21 の絵カードを並べて, 作った文の内 1 つをワークシートに書き写す。		○		◎絵カードを並べて, 好きなものや, 欲しいもの, 日頃することについての文を作っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
4	◆ある人物の説明を聞いて具体的な情報を聞き取り, その人物を説明したり, 説明を聞こうとしたりする。 (WC2-U3) 【Let's Listen 2】 p. 24 【Activity】 p. 24 「Who's this?」の「Quiz」を作る。 【Sounds and Letters】「アルファベットを書こう」		○		◎ある人物についての説明を聞いて理解し, 聞き取ったことを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉
5	◆他者に配慮しながら, 第 3 者について伝え合おうとする。 (WC2-U3) 【Activity】 p. 24 【STORY TIME】 p. 25 【Sounds and Letters】「アルファベットを書こう」	○			◎也者に配慮しながら, その人物について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉

He is famous. She is great. 人物紹介 1/5時間

目標:自分や友達について、日頃していることや趣味などの特徴を話したり、聞いたりしておおよその内容がわかる。

準備:デジタル教材, 振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準備
1 挨拶をする。 ◎アルファベットの読み方と音に慣れる。 (ジングル)	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する	デジタル教材 児童用テキスト
【Let's Watch and Think 1】 p. 18, 19 (WC2-U3) p. 18, 19 を見て、英語で言えるものや読めるものを発表する。 ・デジタル教材で音声を聞いて、それが誰のことかを考えて、誌面口に番号を記入する。 ・4 線に丁寧に文字を書いて、チラシを完成させる。	・誌面を見て分かるもので、英語で言ったり読めたりする語があれば発表させる。 ・4 人それぞれの自己紹介が書かれていることを説明したうえで、映像資料 Q パターン 1 を視聴させ、1 問ずつ回答させる。 ・再度視聴させ、それぞれのキャラクターの名前の文字を聞き取って、4 線に書かせる。	
【Let's Play】 p. 18, 19 ・ボインティング・ゲームをする。指導者が言う語の絵を、誌面から選んでさし示す。前半はペアで行い、後半は個人で行う。	・デジタル教材で音声を聞かせてもよい。音声で聞いたり言ったりしている文に見慣れることがねらいである。	デジタル教材 児童用テキスト
【Let's Play 3】 p. 20, 21 ・ミッシング・ゲームをする。	・前時と同じ要領で、p. 20, 21 にある絵カードで行う。	
Let's Talk ・ペアになり、好きなものやこと、欲しいもの、できること、日頃していることや趣味など自分の特徴を話す。 ・相手を替えて繰り返し、やり取りする。	・1 人目のペアと話した後、分からなかった表現等を出させ、ほかの児童に既習表現などを使ってどのように言ったらよいかを考えさせる。 ・全員でその表現を共有してから、相手を替えて、再度自分の特徴などを話させる。相手を替えて数回繰り返しさせる。	
Sounds and Letters ・ジングルを聞く。 ・ワークシートの 4 線の上に文字を書く。	・(時間に余裕があれば) ジングルを聞かせる。 ・ワークシートの 4 線の上に文字を書くよう指示する。	デジタル教材 ワークシート
・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

目標：動作を表す語を読んで分かり好きなもの、欲しいもの、日頃することの表現について、文の語順に気付く。

準備：デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(単語カード:動作 6 種類)、児童用カード(誌面 p. 20, 21 をコピーして絵カードを切り離したもの)、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準備
1 挨拶をする。 ◎アルファベットの読み方と音に慣れる。 (Hi, friends! Plus ジングル) 【SmallTalk】好きなキャラクター S1: I like Doraemon. S2: You like Doraemon. Why? S1: He is kind and great. He can fly. His miracle pocket is nice. Do you like Doraemon? S2: Yes, I do. I like Minnie Mouse, too. S1: I see. Why? S2: She is cute. She can dance and sing	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。 ・本単元の題材との関連を意図し、好きなキャラクターについて話させる。 ※SmallTalk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p. 84, 85 を参照。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する	デジタル教材 児童用テキスト
【Let's Listen 1】p. 24 ・音声を聞いて、それがどんなキャラクターか考えて、誌面に答えを記入する。	・あるキャラクターについての Who am I? クイズに答えるよう言う。 (教師用 P32 スクリプト参照)	
【Let's Play 3】p. 20, 21 ・ミツシング ゲームをする。	・前時と同じ要領で、行う	デジタル教材 児童用テキスト
【Let's Watch and Think 2】p. 22 ・p. 22 の点線囲みにどのような言葉を入れるかを考え、発表する。次に、ペアになり 4 文を言い合う。 ・デジタル教材で音声を聞いて、内容に合うようにペアで点線囲みにカードを置く。 ・ペアで、p. 22 の点線囲みにカードを自由に置いて、意味が通る文をできるだけたくさん作る。	・p. 22 を見せ、自分なら点線囲みにどのような言葉を入れるかを考えさせたうえで、発表させる。 ・デジタル教材で音声を聞かせ、児童用カードを点線囲みに置かせる。 (教師用 P30 スクリプト参照)	デジタル教材 児童用カード (本単元巻末絵カードを印刷して多数作成)
Sounds and Letters ・ジングルを聞く。 ・ワークシートの 4 線の上に文字を書く。	・(時間に余裕があれば) ジングルを聞かせる。 ・ワークシートの 4 線の上に文字を書くよう指示する。	デジタル教材 ワークシート
・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。	

・挨拶をする。

He is famous. She is great. 人物紹介 3/5 時間

目標：好きなものやこと、欲しいもの、日頃することの表現について、語順を意識して、文を書き写そうとする、

準備：児童用テキスト、児童用カード、ワークシート (Unit 3-3, 4 線, デジタル教材, 振り返りカード)

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ◎アルファベットの読み方と音に慣れる。 (Hi, friends! Plus ジングル)	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する	デジタル教材
【Let's Play 3】p. 20, 21 ・キーワード・ゲームをする。	誌面 p. 20, 21 にある語を言う。 デジタル教材で音声を聞かせてもよい。	児童用テキスト
【キーワードゲームの進め方】 ・指導者は語を言い、児童は繰り返して言う。あらかじめ決めておいたキーワードを指導者が行ったら、児童は繰り返さず、2 人の間においてある消しゴムを取る。早く取ったほうが勝ち。		
【Let's Watch and Think 3】p. 23 ・デジタル教材の音声を聞いて分かったことを発表する。 ・次に、ワークシートの点線囲みに児童用カードを置いて、聞き取った文を再現する。	・デジタル教材、登場人物の自己紹介を前半、後半に分け視聴させる。 分かったことを発表させる。 教師用 P 3 1 スクリプト参照	デジタル教材 児童用テキスト
【文を作ろう】 ・ペアで、ワークシートの上にカードを並べて、できるだけたくさんの文を作る。 ・絵カードを並べて作成した文の内 1 つを選んで、ワークシート (4 線) に書き写す。その際には、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して書き写す。	・児童用テキスト誌面 p. 20, 21 絵カードを印刷してカードを多数作成しておき、ペアに多数配布する。 ・できた文を発表させる。発表させた文のいくつかを黒板に教師用カードで掲示し、全員で読ませる。	デジタル教材 児童用カード (本単元巻末絵カードを印刷して多数作成)
・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする	振り返りカード

He is famous. She is great. 人物紹介 4/5 時間

目標：ある人物の説明を聞いて具体的な情報を聞き取ることができるとともに、その人物を説明したり、説明を聞こうとしたりする。

準備：児童用テキスト、ワークシート (Unit 3-1, 3-4, 4 線), デジタル教材, 振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ◎アルファベットの読み方と音に慣れる。 (Hi, friends! Plus ジングル)	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する	デジタル教材
【Let's Listen 2】 p. 24 ・ヒントを聞いてそれが誰かを考え、表に答えを書く。	・音声を数回聞かせ、それが誰かを考えて表に記入させる。 ・音声では 2 人のキャラクターが紹介されることを伝える。 ・答え合わせの際には、どのような紹介文があったかを発表させる。 教師用 P 3 2 スクリプト (Let' s listen 2 No2, No3 参照)	児童用テキスト
【Activity】 p. 24 ・人物について「Who's this?」 Quiz を作る。 ・これまでのワークシートに書いた文や誌面の英文を参考に、ある人物の好きなものやこと、欲しいもの、できることや日頃していることを、文にする。	・これまでに聞いたり言ったりしてきた文やワークシートに書いた文を参考に、人物について Who's this? Quiz を作らせる。	デジタル教材 児童用テキスト
・ペアやグループで Who's this? Quiz を出し合い、相手からアドバイスをもらい、自分のクイズに改良を加える。	・ある人物について Who's this? Quiz を完成させる。 ・できたら、ペアでクイズを出し合わせる。 ・個別支援をする。	デジタル教材 児童用カード (本単元巻末絵カードを印刷して多数作成)
Sounds and Letters ・ジングルを聞く。 ・ワークシートの 4 線上に文字を書く。	・(時間に余裕があれば) ジングルを聞かせる。 ・ワークシートの 4 線上に文字を書くよう指示する。	デジタル教材 ワークシート
・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする	振り返りカード

目標：他者に配慮しながら，第3者について伝え合おうとする。

準備：ワークシート（Unit 3—1, 4 線），デジタル教材，児童用テキスト，振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ◎アルファベットの読み方と音に慣れる。 (Hi, friends! Plus ジングル) 【Activity】 p. 24 ・「チャレンジ Who's this? Quiz」をする。 ・前時とは違うメンバーでグループになり，1 人が作成したクイズを出題し，ほかの児童がそれを聞いてそれが誰かを考えて答える。 ・クイズに答え終わったら，出題者と回答者で，その人物について簡単なやり取りをする。 ・代表児童数名が全員の前でクイズを出す。	・全体に挨拶し，個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する ・前時に作成したクイズのヒントを確かめたり，書いたヒントを見直したりして，「チャレンジ Who's this? Quiz」をする。 ・「チャレンジ Who's this? Quiz」は，本単元での目標である語順への気付きを生かした活動として行う。 ・児童がこれまでに音声で十分に慣れ親しんできた。表現を視覚化することで語順に気付かせる。 * 全文を読んだり書いたりするクイズにすることは児童が負担感を感じることも考えられるため，本単元で語順への気付きとして扱った文のみ紙に書いて表示するのみとする。 * 児童の実態に応じて，全文紙に書いて表示することも考えられる。 ・グループ内で，クイズを出したり答えたりするよう言う。 ・クイズの後，その人物をどう思うかについてやり取りをするよう言う。	デジタル教材 児童用テキスト
【STORY TIME】 p. 25 ・デジタル教材でライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を聞く。 ・ライム（押韻）している単語だけを読み出す。	・本単元で学習した表現が含まれている文を読むようにし，ライム（押韻）を通して子音の復習と母音への気付きを高める。 * ライム（押韻）教師用 P33 参照	
Sounds and Letters ・ジングルを聞く。 ・ワークシートの 4 線上に文字を書く。	・（時間に余裕があれば）ジングルを聞かせる。 ・ワークシートの 4 線上に文字を書くよう指示する。	デジタル教材 ワークシート
・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする	振り返りカード

6 年 単元 4

単元名 I like my town.

(『We Can! 2』 Unit 4)

1. 単元目標、

- ・地域にどのようなものがあるかやほしいか、地域のよさなどを表す表現が分かる。【コ】
- ・地域のよさや課題などについて話される英語を聞いて、その概要を捉えたり、自分が住む地域について、よさや願いなど自分の考えや気持ちを伝え合う。【慣】
- ・言語や人、それぞれに違いがあることに気付く。【気】

2. 単元評価規準

- ◎地域にあるもの、ないものについて聞きとれる。
- ◎地域にはどのような施設があるか、ないかについて聞いたり言ったりしている。
- ◎地域の良さなどについて、伝え会おうとする。

3. 表現

- ・ We [have / don't have] (a gym). We can (play basketball). I want a [library / park]. (Sakura) is nice. town, 施設と建物 (amusement park, aquarium, swimming pool, stadium, roller coaster, Ferris wheel), but, so, nature, 動作 (dancing, jogging, playing, reading, shopping, singing, swimming, walking)

4 単元計画 (4 時間)

時	目標と主な活動	コ	慣	気	評価規準<方法>
1	◆自分たちの住む町のよさや改善点を聞いて、その内容が分かる。 ・ (WC2-U4) 【Let's Listen 1】「登場人物の話を聞こう。」 ・ (WC2-U4) 【Let's Listen 2】「町にあるものに○をつけよう。」 ・ (WC2-U4) 【Let's Play 2】「Pointing Game」 ・ (WC2-U4) 【Let's Chant】“I like my town.” ・ Let's Read and Write「書き写そう。」		○		◎地域にあるもの、ないものについて聞き、番号を記入している。〈行動！見察・記述分析・振り返りカード点検〉 ◎地域にあるもの、ないものについて聞き、表に記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉
2	◆自分たちが住む町のよさや改善点を聞いて、その内容が分かる。 ・ (WC2-U4) 「Small Talk」 ・ (WC2-U4) 【Let's Chant】“I like my town.” ・ (WC2-U4) 【Let's Listen 1】「登場人物の話を聞こう。」 ・ (WC2-U4) 「集中力ゲーム」 ・ (WC2-U4) 「施設の絵カードを交換しよう。」 ・ Sounds and Letters「アルファベットを書こう。」		○	○	◎地域にはどのような施設があるか、ないかについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
3	◆自分たちが住む町のよさや改善点について聞きその内容が分かるとともに、自分が住んでいる地域のよさについて話す。 ・ (WC2-U4) 【Let's Chant】“I like my town.” ・ (WC2-U4) 【Let's Play 1】「友だちが選んだ町を当てよう。」 ・ (WC2-U4) 【Let's Listen 3】「音声を聞いて表にまとめよう。」 ・ (WC2-U4) 「Let's Talk」 ・ Let's Read and Write「書き写そう。」		○		◎地域にはどのような施設があるか、ないかについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
4	◆地域にあってほしい施設について話される英語を聞いて、意味が分かるとともに、自分たちが住む地域にあってほしい施設を伝え合う。 ・ 《WC2-U4》【Let's Chant】“I like my town.” ・ 《WC2-U4》【Let's Watch and Think 1】「町についての話を聞こう。」 ・ 《WC2-U4》【Let's Play 3】「Pointing Game」 ・ 《WC2-U4》【Activity 1】「自分たちの町について話そう。」 ・ 《WC2-U4》【STORY TIME】 ・ Sounds and Letters「アルファベットを書こう。」		○	○	◎登場人物が欲しいと思う施設を聞き取り、表を完成している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉

I like my town. 1/4時間

目 標 自分たちの住む町のよさや改善点を聞いて、その内容が分かる。

準 備 デジタル教材、教師用カード、児童用カード、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準 備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
○ (WC2-U4) 【Let's Listen 1】「登場人物の話を聞こう。」 ・自分の住む地域について説明している音声を聞いて、誌面にある6つの絵のうち当てはまる2つを選び、番号を記入する。	音声を聞かせる前に、誌面にある6つの町について児童とやり取りをする。それぞれの町にあるものを発表させたり、I like this town. Do you like this town? What's this? Oh, this is a library. などと質問をして児童の答えやつぶやきを拾ったりしながら、あらかじめ町の様子をつかませておき、音声を聞かせるようにする。そうすることで、どの児童も安心して、意欲的に音声を聞けるようにする。 ・答え合わせをして終わりという単に聞き取りの活動とせず、2つの町の説明から、Do you like this town? Do you like swimming? Is this a nice town? などと質問し、児童の気持ちや考えを引き出すようにする。また、We have a library in our town? Do you want library?などの質問もし、単元の見通しがもてるようにすることも考えられる。	・デジタル教材 ・児童用テキスト
○ (WC2-U4) 【Let's Listen 2】「町にあるものに○をつけよう。」 ・音声を聞く前に、誌面にある施設を教師と確認する。 ・自分たちの校区にあるものとないものを、We have ~ / We don't have ~ の表現を使って全員で言い、表現に慣れる。	・音声を聞く前に、誌面にある施設を児童と確認しておく。 ・3つの町について、その町にあるものとないものを紹介する音声を聞き、各々にある施設を選んで○をつけさせる。	・デジタル教材 ・児童用テキスト
○ (WC2-U4) 【Let's Play 2】「Pointing Game」 ・児童は指導者が言う施設名を聞き、紙面にある絵をさし示す。	・指導者は誌面にある施設の名前を言い、言い方を何度も聞かせたり言わせたりして、慣れ親しませるようにする。 ・指導者は児童の様子を見ながら何度も聞かせ、児童全員が絵をさし示したあとに、教師用絵カードを提示して確認する。	・デジタル教材
○ (WC2-U4) 【Let's Chant】“I like my town.” ・音声を聞き、リズムに合わせて、絵カードを見ながら言う。	・聞こえた単語を児童と確認し合う。	
○ 【let's Read and Write】文字を書き写そう。 参考例に習って、文字の形に注意しながら、なぞり、書き写そう。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、読んだり、書いたりする。 ・感想を発表する。 ・挨拶をする	・ワークシート 4-1

2 単元 4 I like my town. 2/4 時間

目 標 自分たちの住む町のよさや改善点を聞いて、その内容が分かる。

準 備 デジタル教材、教師用カード、児童用カード、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準 備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 ・アルファベットカード
○ (WC2-U4) 「Small Talk」自分の町のどんなところが、好きか。 ・指導者と児童で簡単な会話をする。 S1 :I like my town. We have a big supermarket. S2:I like my town. We have a nice library.	・前時の復習のために、自分の町のどのようなところが好きかについて話させる。 ・指導者が自分の町にどんな施設があるかを簡単に紹介し、続いてペアで対話をさせる。	
○ (WC2-U4) 【Let's Chant】“I like my town.” ・音声を聞き、絵カードを見ながら言う	・聞こえた単語を児童と確認し合う。	デジタル教材
○ (WC2-U4) 【Let's Listen 1】「登場人物の話を聞こう。」 ・音声を聞く前に、知っている建物の単語などを児童と確認する。 ・自分の住む地域について説明している音声を聞いて、誌面にある 6 つの絵のうち当てはまる 2 つを選び、誌面の□に 3, 4 と記入する。	・前時と同様に、Let's Listen1 をすることを告げる。 T: Let's listen. Please find which town (each person lives in). Please write 3 or 4 in the box. ・繰り返し聞くことで、全員が聞き取れるようにする。答え合わせをして終わりという単に聞き取りの活動とせず、2つの町の説明から、Do you like this town? Do you like the amusement park? Is this a nice town? などと質問し、児童の気持ちや考えを引き出すようにする。また、We have a department store in our / ○○ town? Do we have a library? Do you want a department store / library?などの質問もし、児童に We have / don't have の表現を使って自身の町にあるもの、ないものを言うよう促す。	デジタル教材 児童用テキスト
○「集中力ゲーム」 ・児童は施設と建物の絵カードを机に広げる。 ・指導者が施設名・建物名をいくつか続けて言うので、児童はそれを聞き、指導者が言った順番通りに絵カードを並べる。	・グループ(ペア)で集中力ゲームをすることを告げる。 T: Please spread your cards on your desk. Listen to me carefully. Place the cards in the right order. Library, swimming pool, aquarium ・ゲームが終わったらカードの順を確認するが、単に答え合わせにならないよう、児童と町にある施設についてやり取りをする。	児童用カード(施設)
○「施設の絵カードを交換しよう。」 ・ペアになり、10種類の絵カードの中から自分たちの町にあるとよいものを6つ選ぶ。一方が Do you have ~? と尋ね、もう一方はそのカードを持っていれば、Yes, I do.と言ってその絵カードを出す。持っていない場合は、No, we don't.と言う。交互に役割を入れ替えて繰り返し行い、早くすべてのカードがなくなったペアが勝ち。	・代表児童とデモンストレーションを見せ、進め方を理解させるようにする。	児童用カード(施設)
○Sounds and Letters「アルファベットを書こう」 ・参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字を形に注意しながら、なぞる。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、1 から 3 文字程度書く。 ・授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・感想を発表する。 ・挨拶をする	・ワークシート ・振り返りカード

2-単元 4 I like my town. 3/4 時間

目 標 自分たちが住む町のよさや改善点について聞きその内容が分かるとともに、自分が住んでいる地域のよさについて話す。

準 備 デジタル教材、教師用カード、児童用カード、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準 備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。 (Hi, friends! Plus ジングル) ○ (WC2-U 4) 【Let's Chant】 "I like my town." ・ 音声を聞き、一緒に合わせて言う。	・ 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・ デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・ 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・ デジタル教材 ・ アルファベットカード
○ (WC2-U 4) 【Let's Play 1】 「友達が選んだ町を当てよう。」 ・ ペアになり、P26、27 の誌面を見て、自分が住みたいと思う町を一つ選ぶ。一方の児童が Do you have ~? と質問して、もう一方がそれに答える。質問した児童は相手が選んだ町がどれか考えて答える。	・ 始めに指導者が指導員や代表児童でデモンストレーションを見せたからやると良い	児童用テキスト
○ (WC2-U 4) Let's Talk ・ ~ is a nice city. ・ We can enjoy ~. ・ I like ~. などの表現を参考にしても良い。	・ 指導者は英語指導員や代表児童とデモンストレーションを見せ、進め方を理解させるようにする。また、地域の良さについて伝える言い方のモデルを示すようにする。	児童用カード (施設)
進め方 ・ ペアで、10 種類の児童用カード (施設) から自分たちの町にあるとよいと思うものを 6 種類選ぶ。ペア対ペアで、一方のペアが、Do you have ~ ? と、相手の町についてその施設があるかどうかを尋ね、もう一方があれば、Yes, we do. と言ってそのカードを出す。なければ、No, we don't. と言う。手持ちのカードが早くなくなったペアが勝ち。		
○ 【let's Read and Write】 文字を書き写そう。 参考例に習って、文字の形に注意しながら、なぞり、書き写そう。 ・ 振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。	・ 児童の実態に合わせて、読んだり、書いたりする。 ・ 感想を発表する。 ・ 挨拶をする	・ ワークシート 4-2 ・ 振り返りカード

2ー単元4 I like my town. 4/4 時間

目 標 地域にあってほしい施設について話される英語を聞いて、意味が分かるとともに、自分たちが住む地域にあってほしい施設を伝え合う。

準 備 デジタル教材、教師用カード、児童用カード、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準 備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル) ○(WC2-U4) 【Let's Chant】 “I like my town.” ・ 音声を聞き、絵カードを見ながら言う。	・ 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・ デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・ 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・ デジタル教材 児童用テキスト・
《WC2-U9》【Let's Watch and Think 1】「町についての話を聞こう。」 ・ デジタル教材を視聴し、3つの町にある施設、ほしい施設を聞き取る。その町にあるものには○を、ほしいものには◎を誌面に記入する。 ・ 数回聞いたあとに答え合わせをする。 ※ほしい施設を I want ～. で表せることに気付くようにする。	・ 児童の実態に応じて、3種類の映像を1度に視聴させるのではなく、1つ1つ答えを確認してから次の映像資料を視聴させてもよい。 ・ 複数回視聴させ、どの児童もが分かったという達成感もてるようにする。また、すべてを把握せずとも、ポイントを聞き取るよう声かけをするとよい。	児童用テキスト)
○《WC2-U4》【Let's Play 3】「Pointing Game」 ・ 指導者が言う動作や好きなもの・ことを聞き、誌面にある絵を指さす。 ・ 慣れてきたら、I like ～. など文で表現できるようにするとよい。	・ ゲームを始める前に、誌面にある10種類のことやものについて、Do you like reading books?などと好きかどうかを尋ね、10種類のことやものについてやり取りをし、それらを確認させる。 ・ 児童が慣れてきた段階で、言う単語を2～3語に増やし、児童が連続で指さすようにしてもよい。	児童用テキスト 児童用カード(施設)
○《WC2-U4》【Activity 1】「自分たちの町について話そう。」 ・ Yuta が自分の町について発表している音声を聞き、児童は聞こえた語や分かったことを発表する。はじめは誌面を閉じた状態で、何も見ずに音声を聞く。 ・ 次に、誌面を見ながら音声を聞く。 ・ 各児童は、Yuta の発表を参考に、自分たちの住む町について紹介する内容を考えて、ペアで発表し合う。ペアを変えて複数回繰り返す。	・ Yuta の例を参考に、自分の町にある施設とない施設について考え、ペアで発表させる。 ・ ペアの相手を替え、発表を繰り返させてみる。	デジタル教材
○《WC2-U4》【STORY TIME】 ・ 文字を見ながらデジタル教材の音声を聞き、音声のあとについて言う。 ※読んでいる文字を押さえながら読むようにする。		
○Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」 ・ 参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字を形に注意しながら、なぞる。 ・ 振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。	・ 児童の実態に合わせて、1～3文字程度書く。 ・ 授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・ 感想を発表する。 ・ 挨拶をする	・ ワークシート ・ 振り返りカード

6年 単元5 単元名 My Summer Vacation. 夏休みの思い出 (We can! 2 Unit5)

1. 単元目標、

- ・ 進んで、夏休みの思い出について伝え合おうとする。【コ】
- ・ 夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだこと、感想などを表す表現に慣れ親しむ。【慣】
- ・ 過去のことを表す表現があることに気づく。【気】

2. 単元評価規準

- ◎夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりしている。
- ◎夏休みの思い出についての話を聞き取っている。
- ◎他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合っている。

3. 表現

○I went to (my grandparent's house). I enjoyed (fishing). I saw (the blue sea). I ate (ice cream).
It was [fun/ beautiful/ delicious/ exciting].

○grandparent, vacation, shaved ice, 動詞過去形(went, ate, saw, enjoyed, was),
自然 (beach, mountain, lake, river,) 動作 (hiking, camping)

〔既出〕 my, it, sea, スポーツ, 果物・野菜, 飲食物、季節、動作、身の回りのもの、状態・気持ち

単元計画 (4 時間)

時	目標と主な活動	コ	慣	気	評価規準＜方法＞
1	◆過去形の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所を言ったり聞いたりすることができる。 ・ (WC2-U5) 「Small Talk」 ・ (WC2-U5) 【Let's Listen 1】 P36 前半 「夏休みの思い出について聞こう。」 ・ (WC2-U5) 【Let's Play】 ポインティングゲーム ・ 「夏休みに行った場所を伝え合おう。」 ・ (WC2-U5) 【Let's Chant】 Summer Vacation. (She can run fast, He can sing well.) p.35 ・ ○ 【let's Read and Write】 書き写そう。			○	◎夏休みの思い出についての話を聞き取っている。〈発表観察、記述観察・振り返りカード点検〉 ◎夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
2	◆過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所と食べた物を言ったり聞いたりすることができる。 ・ (WC2-U5) 【Let's Chant】 Summer Vacation. p.35 ・ (WC2-U5) 【Let's Play】 ポインティングゲーム ・ (WC2-U5) 【Let's Watch and Think 1】 夏休みについて聞こう。 ・ (WC2-U5) フェイントリピートゲーム ・ 夏休みに行った場所や食べたものを伝え合おう。 ・ Jingle "Food Jingle." ・ Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」			○	◎夏休みの思い出についての話を聞き取っている。〈発表観察、記述観察・振り返りカード点検〉
3	◆過去の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだことを言ったり聞いたりすることができる。 ・ (WC2-U5) 【Let's Chant】 Summer Vacation. ・ (WC2-U5) 【Let's Play】 ポインティングゲーム ・ (WC2-U5) 【Let's Listen 2】 誰がどんなことをしたのか聞き取ろう。 ・ (WC2-U5) 【Let's Watch and Think 2】 夏休みの思い出について聞こう。 ・ (WC2-U5) 夏休みの思い出について伝え合おう。 ・ Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」			○	◎夏休みの思い出についての話を聞き取っている。〈発表観察、記述観察・振り返りカード点検〉

4	◆過去の表現の仕方がわかり，夏休みに行った場所や食べたもの，楽しんだことやその感想を言ったり聞いたりすることができる。 ・ (WC2-U5) 【Let's Chant】 Summer Vacation. ・ (WC2-U5) フェイントリピートゲーム ・ (WC2-U5) 【Let's Listen 3】 夏休みの思い出について聞こう。 ・ 夏休みの思い出について伝え合おう。 ・ (WC2-U5) 【Let's Read and Watch】 「夏休みの日記を読もう。」 ・ (WC2-U5) 【STORY TIME】 ・ ○ 【let's Read and Write】 書き写そう。	○			◎也者に配慮しながら，ある人物についてできることやできないことを，自分の考えも含めて紹介している。（行動観察・振り返りカード点検）
---	--	---	--	--	--

My Summer Vacation. 1/4 時間

目 標 ◆過去の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所を言ったり聞いたりすることができる。

準 備 『We can! 2』 デジタル教材、教師用カード（施設・場所・動作・飲食物）、児童用テキスト

児童の活動	指導者の活動	準 備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル) ・○【Jingle】 Food Jingle.	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
○Small Talk : 夏休み 指導者の話を、反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。	指導者の夏休みについて話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 【Let's Listen1】の活動に入る前に、指導者の夏休みについて話し、活動につなげる。その際に、それが過去の話であることが分かるように、カレンダーで今日の日付を確認してから、いつの話かをカレンダーの日付を示して話すようにする。	・夏休みを紹介する写真や実物など。
Small Talk の例 Today is September. (date). In summer vacation, I went to the sea with my family. I enjoyed swimming. It was fun. I ate watermelon. It was delicious. How about your summer vacation? Good time? Now, let's listen to the talk.		
○ (WC2-U5) 【Let's Listen 1】 p. 36 「夏休みの思い出について聞こう。」 ・登場人物の夏休みの思い出について話している映像を視聴し、行った場所、そこでしたこと、食べたものを話の内容に合うように、誌面上の登場人物と絵を線で結ぶ。 ・2回程度繰り返して聞く。	※本活動において初めて「I went to~, I enjoyed ~, I ate~, It was ~,」の表現が登場する。 音声を開かせた後は、音声で出会った I went to や I enjoyed の表現を繰り返し聞かせて慣れさせることができるように、Kosei went to~. How about you? などと児童とやりとりをするとよい。 ・I went to ~. の表現を繰り返し聞かせることがねらいであるため、無理に言わせず、促す程度にとどめる。	
○ (WC2-U5) 【Let's Play】ポインティングゲーム p.34 p.35 ・指導者が言う施設・場所・動作、飲食物の絵を指さす。 ・指導者の後に続いて繰り返しながらゲームに取り組む。	・ゲームに入る前に、指導者は児童にテキストを閉じさせ、これらの語句を表すジェスチャーをやってみせ、児童から答えを引き出し、それを英語に直す形で、これらの語に出会わせるとよい。	・デジタル教材
○夏休みに行った場所を伝え合おう。 ・夏休みに行った場所をペアで伝え合う。 ・ペアを替えて繰り返す。	・ペアで夏休みに行った場所に伝え合うように指示する。 ・何度も聞いたり言ったりした I went to~. を使って自分のことを言わせることがねらいである。 ・特別なところに行かなかった児童もいることに配慮し、学校の近くの公園、買い物等も含めて伝え合う様に指示する。	
○ (WC2-U5) 【Let's Chant】 Summer Vacation. 音声を聞きながら、言ってみる。 ○【let's Read and Write】文字を書き写そう。 参考例に習って、文字の形に注意しながら、なぞったり、書き写したりする。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・聞こえた語を児童と確認しながら、一緒にチャンツを歌う。 ・児童の実態に合わせて、読んだり、書いたりする。 ・感想を発表させる。 ・挨拶をする。	ワークシート 5-1 ・振り返りカード

My Summer Vacation. 2/4 時間

目標 ◆過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所と食べた物を言ったり聞いたりすることができる。
準備 デジタル教材、教師用カード（飲食物）、飲食物の写真など、児童用テキスト、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル) 【Jingle】 Food Jingle. ○ (WC2-U5) 【Let's Chant】 My Summer Vacation. ・ 音声を聞き、一緒に合わせて言う。	・ 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・ デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・ 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・ デジタル教材
○ (WC2-U5) 【Let's play】 ポインティングゲーム p 34, p 35 ・ 前時と同様に取り組む。 ・ 指導者の後に続いて、表現を繰り返し使いながらゲームに取り組む。 ○ (WC2-U5) 【Let's Watch and Think 1】 p36 世界の国々の子ども達が夏休みの思い出について話している映像資料を視聴し、誰が何をしたか等を誌面の表に記入する。また、日本の夏休みとどのように違うのか比べながら聞く。	・ 絵カードをさし、I went to～. I ate ～. I enjoyed～. の表現を使う。 ・ 個人で行い、慣れてきたらペアで行う。 ・ 映像を視聴させる前に、何を聞き取れば良いか確認する。 ・ 単なる聞き取りにならないように、「自分が過ごすならどの夏休みが いいか」など、自分の考えを持たせながら視聴させると良い。	・ 教師用絵カード ・ デジタル教材
○ (WC2-U5) 【Let's play】 「フェイントリピートゲーム」 ・ 1 2 枚程度の絵カードから、指導者が言う単語が正しければリピートする。	・ 児童と言い方を確認しながら場所や食べ物の絵カードを掲示する。 ・ 指導者がさすものを、指導者の後について発音するように言う。慣れてきたら、指導者は指した物と違う語を言う。児童はそれに惑わされないように、さされた単語を言う。	・ ワークシート
【Let's Talk】 ○ 夏休みに行った場所や食べたものを伝え合おう。 ・ 夏休みに行った場所と食べたものについてペアで伝え合う。	・ 指導者はまず、自分が夏休みに行った場所や食べたものなどを紹介し、一人の児童に how about you? と問いかけ発話を促す。発話を助けながら、これを複数名と行い、児童にやり方を理解させる。 T: I went to the sea. I ate ice cream. How about you? S1: I went to the amusement park. I ate a hamburger. ・ ペアで夏休みに行った場所食べたものについて伝え合うように指示する。 ・ 児童の実態に合わせて、前時で伝え合った I went to～. の内容に食べたものを加えて伝えてもよい。 ※児童用の巻末絵カードを使い、見せ合いながら児童の夏休みについて伝え合うこともできる。	(児童用巻末絵カード)
○ Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」 ・ 参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・ 振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。	・ 児童の実態に合わせて、1～3 文字書く。 ・ 授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・ 感想を発表させる。 ・ 挨拶をする。	・ ワークシート ・ 振り返りカード

My Summer Vacation. 3/4 時間

目標 ◆過去の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだことを言ったり聞いたりすることができる。

準備 デジタル教材、教師用カード（動作、飲食物、場所、状態・気持ち）児童用テキスト、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル) food jingle ○ (WC2-U5) 【Let's Chant】 My Summer Vacation. ・ 音声を聞き、一緒に合わせて言う。	・ 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・ デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・ 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・ デジタル教材
○ (WC2-U5) 【Let's play】 ポインティングゲーム p 3 4, p 3 5 ・ 指導者が夏休みに関わる語彙（感想）を言うのを聞いて、その語を表す絵を指す。 ・ 前時と同様に取り組む。 ○ (WC2-U5) 【Let' s Listen 2】 p37 「誰がどんなことをしたのか聞き取ろう。」 ・ 音声を数回聞いて、内容に合うように誌面にある登場人物と絵などを線で結ぶ。	・ 前時までの活動と同様にする。 ・ 単語だけ答えさせたり、表現を合わせたりして、行った場所、食べたもの、感情を表す表現など、同じポインティングゲームでも変化をつけて行うようにする。 ・ 音声を聞かせる前に、誌面のイラストの単語を確認したり、何を聞き取るか確認する。	
○ (WC2-U5) 【Let's Watch and Think 2】 p38 「夏休みの思い出について聞こう」 ・ 映像資料を視聴し、登場人物が夏休みにしたことや、感じたことを聞いて、表に記入する。	※Did you ～? など未習語も一部含まれるが、ここではやりとりの様子を聞かせることを優先する。聞き取る情報（したこと、感想）に注目させるようにする。	
【Let' s Talk】 ○夏休みの思い出について伝えあおう。 ・ 夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだことなどを伝え合う。	・ 指導者はまず、自分が夏休みに行った場所や食べたものなどを紹介し、一人の児童に how about you? と問いかけ発話を促す。発話を助けながら、これを複数名と行い、児童にやり方を理解させる。 T: I went to the sea. I enjoyed eating ice cream. How about you? Sl: I went to the mountain. I enjoyed hiking. ・ ペアで夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだことなどについて伝え合うように指示する。 ・ 児童の実態に合わせて、前時で伝え合った内容に楽しんだことを加えて伝えてもよい。	・ 夏休みについて紹介する写真や実物など
○ 【let's Read and Write】 文字を書き写そう。 参考例に習って、文字の形に注意しながら、なぞったり、書き写したりする。 ・ 振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。	・ 児童の実態に合わせて、読んだり、書いたりする。 ・ 感想を発表させる。 ・ 挨拶をする。	ワークシート 5-4 ・ 振り返りカード

My Summer Vacation.

4/4 時間

目標 ◆過去の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだことやその感想をいったり聞いたりすることができる。

準備 デジタル教材、教師用カード（動作、飲食物、場所、状態・気持ち）児童用テキスト、振り返りカード

児童の活動	指導者の 役割	準備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル) food jingle ○(WC2-U5) 【Let's Chant】 My Summer Vacation. ・音声を聞き、一緒に合わせて言う。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
○(WC2-U5) 「フェイントリピートゲーム」 ・12枚程度の絵カードから、指導者が言う単語が正しければリピートする。	・児童と言い方を確認しながら場所や食べ物の絵カードを掲示する。 ・指導者がさすものを、指導者の後について発音するように言う。慣れてきたら、指導者は指した物と違う語を言う。児童はそれに惑わされないように、さされた単語を言う。	・教師用絵カード
○(WC2-U5) 【Let's Listen 3】 p38 「夏休みの思い出について聞こう」 ・英語の音声を聞き、登場人物が夏休みの思い出について話しているのを聞いて、どこへ行ったかを考えて、誌面の絵から選んで線で結ぶ。	・一気に聞かせると難しく感じる児童もいるので、一人の音声が終わるたびに間をおいて確認するなど、児童の実態に合わせる。 ・登場人物4人が、ある場所に行っていたこと、その感想を話し、最後に guess where I went. クイズを出している英語の音声を聞かせる。(クイズが出されたとき、画面には山、ショッピングモール、川、遊園地、祭り、古い町並み、プールのイラストが表示されている。)	・デジタル教材
【Let's Talk】 ○夏休みの思い出について伝えあおう。 ・夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだこと、感想などを伝え合う。 ・これまで話してきた内容に感想を加えるようにして行うとよい。	・指導者はまず、自分が夏休みに行った場所や食べたものその感想などを紹介し、一人の児童に how about you? と問いかけ発話を促す。発話を助けながら、これを複数名と行い、児童にやり方を理解させる。 T: I went to the sea. I enjoyed eating ice cream. It was delicious. How about you? S1: I went to the mountain. I enjoyed hiking. It was beautiful. ・ペアで夏休みに行った場所や食べたもの、楽しんだことその感想などについて伝え合うように指示する。	
(WC2-U5) 【Let's Read and Watch】 夏休みの日記を読もう。 ・日記の内容を表したデジタル教材を視聴する。続いて、デジタル教材の音声に合わせて日記の英文を読む。 ・読んだ内容を参考に、内容に合う絵を選ぶ。 (WC-U5) 【STORY TIME】 ・文字を見ながらデジタル教材の音声を聞き、音声の後について言う。	・児童が抵抗感なく取り組むことができるように段階をおって活動を設定する。 ・読んでいる文字を押さえながら読むようにする。	
○Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」 ・参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、1～3文字書く。 ・授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・感想を発表させる。 ・挨拶をする。	・ワークシート ・振り返りカード

6 年 単元6

単元名 What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック (We can! 2 Unit 6)

1. 単元目標

- ・国名や競技名等について、聞いたり読んだりすることができる。【慣】
- ・オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合う。【コ】
- ・他者に配慮しながら、オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合おうとする。【コ】

2. 単元評価規準

- 【慣】得意な競技や観たい競技について聞いたり言ったりすることができる。
- 【気】オリンピック・パラリンピックの歴史に興味を持ち、様々な競技が行われることに気づく。
- 【コ】オリンピック・パラリンピックに関する話を聞いて内容がわかるとともに観たい競技について、進んでインタビューをしている。

3. 表現【主な表現】

○What do you want to watch? I want to watch (wheelchair basketball on TV). Why? I like (basketball).

(He / She) is good at (playing tennis). (He / She) is a great (tennis player).

【主な語彙】

○スポーツ: wheelchair basketball, wheelchair tennis, athletics, climbing, archery, boxing, canoe, cycling, gymnastics, football, rugby, surfing, sailing, wrestling, weight lifting, wheelchair marathon, sitting volleyball, para swimming,

国: Malaysia, Norway, Turkey, Vietnam

単元計画 (4 時間)

時	目標と主な活動	コ	慣	気	評価規準<方法
1	◆スポーツに関する話を聞いて内容がわかるとともに、スポーツに関する好みや得意不得意について、聞いたり答えたりする。 【スリーヒントクイズ】 ・HRT 又は AET/JTE が出すスリーヒントを聞き何の競技かを推測する。 ・デジタル教材を視聴して何の競技かを推測する。 【Small Talk】 ・HRT と AET/JTE とで得意なスポーツについて会話をする。 ・“be good at～.”の表現を繰り返し使うことで目標表現に気づかせる。 【Let's Play 1】We can! 2 p.43 ・インタビューゲームをする。 ○【let's Read and Write】書き写そう。				◎スポーツに関する話を聞いて内容がわかるとともに、得意や不得意について聞いたり答えたりする。 ○〈行動観察・振り返りカード点検〉
2	◆オリンピック・パラリンピックに関する話を聞いて内容が分かる。 【並べ替えゲーム】 ・HRT 又は AET/JTE が言う競技名のカードをペアで順に並ばせる。 (準備: オリンピックのピストグラムカード ペア数分) 【Small Talk】 ・HRT と AET/JTE とでオリンピックについて会話をする。 【Let's Watch and Think 2】We can! 2 p.44 ・東京オリンピック・パラリンピックの歴史やパラリンピック競技について知る。 【Let's Watch and Think 3】We can! 2 p.45 ・映像でさととエマの会話を視聴して観たい競技を□に記入する。 【Let's Chant "Do you want to watch baseball?" We can! 2 p.45 ・音声を聞き、リズムに合わせて英語を言う。 ○【let's Read and Write】書き写そう。				◎オリンピック・パラリンピックに関する話を聞いて内容がわかる。 ○〈行動観察・振り返りカード点検〉

3	◆オリンピック・パラリンピックに関する話を聞いて内容がわかるとともに、観たい競技やしたいスポーツについて、聞いたり答えたりする。 【Let's Chant】 Wecan!2 p.45 ・“Do you want to watch baseball?”のリズムに合わせて英語を言う。 【競技名かるたゲーム】 ・ピストグラムカード(グループで1セット)を用意し、グループ内で読み手と取り手に分かれて行う。 【Let's Watch and Think 3】 Wecan!2 p.46 ・昔実施されていた競技、新たに実施されていた競技はどれなのか推測し、発表し合う。 【Let's Talk】 Wecan!2 p.45 ・誌面の競技を観たいかインタビューをして、観たいと答えた友達の名前を記入する。 ・ Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」				◎オリンピック・パラリンピックに関する話を聞いて内容がわかるとともに観たい競技について、進んでインタビューをしている。 ○ 〈行動観察・振り返りカード点検〉
4	◆観たい競技やしたいスポーツについて聞いたり答えたりする。 【Let's Chant】 Wecan!2 p.45 ・“Do you want to watch baseball?”のリズムに合わせて英語を言う。 【ラッキーカードゲーム】 ・“What do you want to watch?” “I want to watch _____ on TV.”の表現を使ってラッキーカードゲームをする。 【Let's Play 2】 Wecan!2 p.46 ・クラスで1番人気のある競技は何か予想し、人気の競技を調べるためにインタビューを行う 【Let's Read and Write 1】 Wecan!2 p.47 ・誌面にある競技名を読み、自分が観たい競技に○をつける。 [Small Talk] ・ペアで観たい競技について話をする。 ○ 【let's Read and Write】書き写そう。				◎観たい競技について、質問したり答えたりしている。 ○ 〈行動観察・振り返りカード点検〉

What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック 1 / 4 時間 (We Can! 2 Unit 6)

目 標 スポーツに関する話を聞いて内容が分かるとともに、スポーツに関する好みや得意不得意について、聞いたり答えたりする。

準 備 教師用絵カード（単語カード：オリンピックのピストグラム P.42, 43）

児童の活動	指導者の活動◎ 評価〈方法〉	準備物
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi,friends!Plus ジングル Animal 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	デジタル教材 Hi,friends! Plus
【Let's Watch and Think1】 P.42,43 ①指導者が言うスリーヒントを聞いて、どの競技かを推測する。 ②デジタル教材を視聴し、どの競技か推測しながら聞く。	①We can!2 指導編 P.57にあるスリーヒントを出しながら競技名についてやり取りをする。 (バドミントン、テニス、バレーボール) “Can you guess?” “I am good at ____.” “Are you good at ____?” など児童とやり取りをしながらピストグラムを提示する。 ※本時ではオリンピックのみ扱う。 ②デジタル教材を聞かせ、競技名についてやり取りをしながらピストグラムを提示する。	デジタル教材 教師用絵カード オリンピック ピストグラム
【Small Talk】得意な競技 ・指導者の話を推測しながら聞く。	・HRT と AET(JTE)の会話を聞かせて “be good at” の表現に何度も慣れさせる。	
Small Talk の例 A: What sport do you like? A: Are you good at basketball? A: What sport are you good at? A: I' m good at table tennis. H: What sport do you like? H: I' m good at baseball. Are you good at baseball? H: I like basketball. H: No, I' m not. I want to watch basketball on TV. H: I' m good at swimming. What sport are you good at? S1: Baseball. S1: Yes, I am. / No, I' m not. ※like (好き) be good at (得意)の違いに気づかせる。		
【Let's Play1】インタビューゲーム ・教室を歩き回り、出会った友達にインタビューをし、得意な競技を尋ね合う。 ・P.42,43 の競技マークのところに、その競技が得意な友達の名前を記入する。	・既習の be good at~の表現を繰り返し使うことで慣れ親しませる。 ・運動が得意でない児童へは、ここで扱われていないスポーツも OK などの配慮をする。 ・本時ではオリンピック（青色）のみ扱うことを確認する。	
【let's Read and Write】書き写そう。 参考例に習って、文字の形に注意しながら、なぞったり、書き写したりする。 ・振り返りをする。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、読んだり、書いたりする ・感想を発表させる。 ・挨拶をする。	ワークシート 6-1 振り返りカード

What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック 2 / 4 時間 (We Can! 2 Unit 6)

目 標 オリンピック・パラリンピックに関する話を聞いて内容が分かる。

準 備 教師用絵カード (単語カード: オリンピックのピストグラム) 児童用絵カード (ペア数分)

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Animal 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	デジタル教材 Hi, friends! Plus
【並べ替えゲーム】 ・聞こえた順にペアで協力して競技名の書かれた児童用カードを並べる。	・AET(JTE)が競技名を言う。並べるカードの数は児童の実態に合わせて決める。	教師用絵カード 児童用絵カード (ペア数分) オリンピック ピストグラム
【Small Talk】 東京オリンピック ・指導者の話を推測しながら聞く。	・HRT と AET(JTE)の会話を聞かせてオリンピックに興味を持たせる。 ・数人の児童に質問をして内容のやり取りをする。	
Small Talk の例 A: Mr. (Ms.) _____, do you know when is the next Olympic and Paralympic Games? H: In 2020. We have the Olympic and Paralympic Games in Tokyo. A: What sport do you want to watch? H: I want to watch Athletics and karate. How about you? A: I want to watch Volleyball. H: It's exciting! H: What sport do you want to watch? SI: I want to watch baseball. H: OK.		
【Let's Watch and Think2】 P.44 ・映像を見て、東京オリンピックの歴史や競技のことについて知る。 ・聞き取ったことを () に記入する。	・視聴する前に紙面の写真を示しながら "What sport is this?" "Who is this?" などと問いかける。 ・1 回目は全体を通して聞かせ、どんな単語が聞こえてきたかグループで共有させる。 ・2 回目は区切って聞かせるなどして、おおまか内容を全体で共有させる。	デジタル教材
【Let's Watch and Think3】 P.45 ・映像でさとしとエマの会話を視聴して、二人の見たい競技を口々に記入する。	・映像を見る前に錦織選手の写真を示して "Do you know him?" などと聞きながら興味を持たせる。 ・映像を見た後、"Do you want to watch tennis?" など児童とやり取りをする。	オリンピック パラリンピック 選手の写真 デジタル教材
【Let's Chant】 P.45 ・リズムに合わせて英語を言う。	<補足>有名な各競技の選手の写真を示して広げる。 ・チャンツを聞かせ、どのような単語が聞こえてきたか児童と確認してリズムカルに歌詞を言う。	
【let's Read and Write】 書き写そう。 参考例に習って、文字の形に注意しながら、なぞったり、書き写したりする。 ・振り返りをする。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、読んだり、書いたりする。 ・感想を発表させる。 ・挨拶をする。	ワークシート 6-3 振り返りカード

What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック 3 / 4 時間 (We Can! 2 Unit 6)

目 標 オリンピック・パラリンピックに関する話を聞いて内容が分かると共に、観たい競技やしたいスポーツについて、聞いたり答えたりする。

準 備 教師用絵カード（単語カード：オリンピックのピストグラム）児童用絵カード（グループ数分）

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Animal 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	デジタル教材 Hi, friends! Plus
【Let's Chant】 P.45 “Do you want to watch baseball?”のリズムに合わせて英語を言う。 【競技名かるたゲーム】 ・ピストグラムカード(グループで1セット)を用意し、グループ内で読み手と取り手に分かれて行う。	・児童の実態に合わせて速度を調整したり、全部ではなく部分的に選んだりする等の工夫をする。 ・児童の実態に合わせて、読み手は AET(JTE)に言ってもらう。英語をしっかり聞くことを意識させる。	教師用絵カード 児童用絵カード (グループ数分) オリンピック パラリンピック ピストグラム
【Let's Watch and Think3】 P.46 ・音声教材を視聴して、昔実施されていた競技や新たに実施されている競技について推測しながら聞き取る。	・推測しにくい場合は、これまでのオリンピックで観たことのある競技を思い出させる。	デジタル教材
【Let's Talk】 P.45 ・自分が観たい競技を3つ選び、写真に○をつける。 ・教室を歩き回り、誌面の写真の競技を観たいかペアで尋ね合い、観たいと答えた友達の名前を誌面に記入する。	・相手に尋ねる言い方と答え方の確認をする。 ・なぜその競技を観たいのか、簡単な理由も言えるように伝える。 ・制限時間を設けて、男女問わずいろいろな友達にインタビューできるよう伝える。	
デモンストレーション A/H: Hello (Hi). A: What sport do you want to watch? H: I want to watch Wheelchair Basketball on TV. A: Why? H: It's cool. How about you? A: I want to watch swimming. H: Really? Why? A: I am good at swimming. I like swimming. A/H: Thank you. (Bye) ※実際に会場に出かけ、自分の目で競技を観戦できる場合と会場に行けないことも考慮して“on TV”を加えてもよい。		
○Sounds and Letters「アルファベットを書こう」 ・参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・振り返りをする。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて1～3文字程度書く。 ・感想を発表させる。 ・挨拶をする。	アルファベット ワークシート 振り返りカード

目 標 観たい競技やしたいスポーツについて聞いたり答えたりする。

準 備 教師用絵カード (単語カード: オリンピックのピストグラム) 児童用絵カード (グループ数分)

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Animal 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	デジタル教材 Hi, friends! Plus
【Let's Chant】 P.45 “Do you want to watch baseball?”のリズムに合わせて英語を言う。	・児童の実態に合わせて速度を調整したり、全部ではなく部分的に選んだりする等の工夫をする。	教師用絵カード 児童用絵カード (グループ数分) オリンピック パラリンピック ピストグラム
【ラッキーカード】 ・“What do you want to watch?” “I want to watch ____ on TV.”のやりとりをしながら、ピストグラムの絵カードの受け渡しを行う。 ・ラッキーカードを持っていた児童がポイントをもらう。	・相手に尋ねる言い方と答え方の確認をする。 ・ラッキーカードと制限時間を決めてゲームを始める。	
【Let's Play】 P.46 ・クラスで人気 No1 の競技は何か予想する。 ・自分が観たい競技を 1 つ選び P.46 のピストグラムに○をつける。 ・ペアで観たい競技を理由も含めて尋ね合う。 ・黒板のピストグラムカードの下に質問した相手の名前(数字の 1 またはマグネットなど)を書く。	・HRT と AET(JTE)とでディンタビューのモンストレーションを行う。 ・理由を示す表現がわかりにくい時には、簡単な表現の仕方を伝える。 ・質問が終わったら、黒板に結果を書くことを伝える。 ・全員でカウントしながら集計し、人気 No1 競技は何か結果を共有させる。 ・予想と結果を比べさせる。	デジタル教材 教師用絵カード
【Let's Read and Write】 P.47 ・誌面にある競技名を読む。 ※時間があれば※ 【Small Talk】 観たい競技 ・ペアで観たい競技について自由に話をする。	・番組表の見方を説明して、指でなぞりながら読み方を説明する。 ・[書く活動]は児童の実態に応じて、自分の観てみたい競技を選び、書き写す活動をさせる。 ・数名の児童とやり取りをしてお手本を示す。 ・“It's exciting.”などの気持ちを表す表現も積極的に使うことを紹介する。	ワークシート (文部科学省配布ワークシート集)
○ 【let's Read and Write】 文字を書き写そう。 参考例に習って、文字の形に注意しながら、なぞったり、書き写したりする。	・児童の実態に合わせて、読んだり、書いたりする。 ・単元全体を振りかえさせるようにする。 ・感想を発表させる。 ・挨拶をする。	ワークシート 6 - 4 振り返りカード

6 年単元

2-Lesson 5

Hi, friend! 2

Let's go to Italy.

単元目標

- ・自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの間について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。
- ・行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。
- ・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。

単元評価規準

- ・自分の思いがはっきり伝わるように工夫して、おすすめの間について発表したり聞いたりしている。
- ・行きたい国について尋ねたり言ったりしている。
- ・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。

表現

I want to go to Italy. Where do you want to go? Let's go.
America, Australia, Brazil, China, Egypt, France, Greece, India, Japan, Spain, etc.

単元計画（4時間）

時	目標と主な活動	評価		
		意	情	気
		評価規準＜方法＞		
1	国名の言い方を知る。 [P 1]「() に国名を書こう。」 [L 1]「どの国の世界遺産か考えよう。」 [P 2]「国旗クイズを作ろう。」 ○「先生の行きたい国クイズ」ヒントを聞いて、指導者がどの国に行きたいのか考える。 [C] “Let's go to Italy.” バージョン① ○「キーワードゲーム」			本時では、原則として評価結果は記録しないが、目標に向けての指導は行う。
2	行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 ○「ミッシングゲーム」 [C] “Let's go to Italy.” バージョン① ○「ステレオゲーム」 [C] “Let's go to Italy.” バージョン②・③ [L 2]「わかったことを書こう。」	○		・国名を聞いたり言ったりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞ ・行きたい国について聞いている。＜行動観察・誌面点検・振り返りカード点検＞
3	行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 [C] “Let's go to Italy.” バージョン① ○「キーワードゲーム」 ○「ラッキーカードゲーム」 [P 3]「友達に行き国をインタビューしよう。」 [C] “Let's go to Italy.” バージョン②・③	○		・行きたい国について尋ねたり言ったりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞ ・行きたい国について尋ねたり言ったりしている。＜行動観察・誌面点検・振り返りカード点検＞
4	世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付くとともに、自分の思いがはっきり伝わるようにおすすめの間について発表したり、積極的に友だちの発表を聞いたりしようとする。 [C] “Let's go to Italy.” バージョン②・③ [A]「おすすめの間を紹介しよう。」音声教材を聞いてわかったことを誌面に書く。次に、自分のおすすめの間を発表し合う。	○	○	・自分の思いがはっきり伝わるように工夫して、おすすめの間について発表したり聞いたりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞ ・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。＜行動観察・振り返りカード点検＞

Let's go to Italy. 1/4 時間

目 標 国名の読み方を知る。

準 備 教師用絵カード (国旗・食べ物・動物・スポーツ・チャンツ用)、デジタル教材、(振り回りカード)

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Food 編)	・全体で挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 Hi, friends! Plus
【Let's Play 1】 p. 18 ・知っている国を発表する。 ・誌面 p. 18 の国旗で知っているものを発表し、それを確かめるために音声教材を聞く。 ・() に国名を書く。	・知っている国や、どのような場面でその国名を聞いたか尋ねる。 ・誌面にある国旗の国名を知っていれば発表させ、() に国名を記入させる。音声教材を聞かせ、国名を確認させる。 ・日本語と英語での国名の言い方の違いに気付かせるようにする。	デジタル教材
【Let's Listen 1】 p. 19 ・誌面の世界遺産で知っているものを発表する。 ・音声教材を聞いて、世界遺産名を知る。	・誌面 p. 18, 19 の世界遺産の写真を見て、知っているものを発表させる。 ・音声教材を聞いて世界遺産名を確かめさせる。 ・誌面写真の清水寺以外の日本の世界遺産についても触れる。	デジタル教材
【Let's Play 2】 p. 18, 19 ・国名を言って確認する。 ・10 種類の国旗の模様にある、色や形を言う。 ・音声教材を聞いて、どの国の国旗か考えて答える。 ・音声教材のクイズを参考に、グループで国旗クイズを作って発表する。	・国名を確認しながら、教師用絵カードを黒板に貼る。 ・それぞれの国旗の模様について、色や形の英語を使ってどのように説明できるか尋ねる。 ・音声教材を聞かせ、どの国の国旗か考えさせる。 ・グループで相談して、10 種類から選んで国旗のクイズを作らせる。	教師用絵カード (国旗) デジタル教材
○先生の行きたい国クイズをする。 ・ヒントを聞いて、指導者がどの国に行きたいか考える。	・黒板に貼った 10 種類の国旗の国で、行きたい国について I want to eat/see/play ~. を使って、ヒントを出す。 ・ジェスチャーをつけ、食べ物や動物、スポーツの教師用絵カードを見せながらヒントを出す。	教師用絵カード (食べ物・動物・スポーツ)
【Let's Chant】 "Let's go to Italy." バージョン① p. 21 ・音声教材を聞いて、絵カードを見ながら言う。	・音声教材 (バージョン①) を聞かせ、教師用絵カードを見せながら、一緒に言う。	教師用絵カード (チャンツ用) デジタル教材
○キーワードゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 5 参照)	・国名を、I want to go to ~. の表現を使って言う。	教師用絵カード (国旗) デジタル教材
Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」 参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・振り回りをし、挨拶をする。	・児童の実態に合わせて 1～3 文字程度書く。 ・感想を発表させ、挨拶をする。	アルファベット ワークシート 振り回りカード

15 Let's go to Italy. 2/4時間 目 標 行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 準 備 教師用絵カード(国旗・チャンツ用)、デジタル教材、(振り返りカード)		
○ミッシングゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 17 参照) ・ 国名を言う。	・ 黒板に教師用絵カードを貼る。 ・ 児童に目を閉じさせ、その間に黒板に貼ってある教師用絵カードから1枚を抜く。 ・ 目を開けさせ、What's missing? と尋ねる。	教師用絵カード(国旗) デジタル教材
【Let's Chant】 "Let's go to Italy." バージョン① p. 21 ・ 音声教材を聞いて、絵カードを見ながら言う。	・ 前の活動の流れから、チャンツに入る。 ・ 音声教材(バージョン①)を聞かせ、教師用絵カードを見せながら、一緒に言う。	教師用絵カード(チャンツ用) デジタル教材
○ステレオゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 17 参照) ・ 誰がどこの国に行きたいか聞き取る。 ・ 指導者と一緒に、Where do you want to go? と質問をする。	・ 代表児童に教師用絵カードから、行きたい国の国旗を選ばせ、ほかの児童に見えないように持たせて1列に並ばせる。 ・ 初めは、指導者が代表児童に Where do you want to go? と尋ねるが、慣れてきたらほかの児童も一緒に尋ねさせる。代表児童は、実態に応じて、国名だけを答えさせたり、I want to go to ～. で答えさせたりする。 ※評価①	教師用絵カード(国旗)
【Let's Chant】 "Let's go to Italy." バージョン②・③ p. 21 ・ 音声教材を聞いて、絵カードを見ながら言う。	・ 児童の実態に合わせて、バージョン②(I want to ～)やバージョン③(I can ～)の音声教材を聞かせ、教師用絵カードを見せながら一緒に言う。	教師用絵カード(チャンツ用) デジタル教材
【Let's Listen 2】 p. 20 ・ 音声教材を聞いて、きよこがどこに行つて何をしたいのか考えて、誌面に書く。 ・ わかったことを発表する。	・ 誌面 p. 20 の3枚の写真を見せた上で、音声教材を聞かせ、きよこがどこに行つて何をしたいのか考えさせ、わかったことを誌面に記入させる。 ・ 発表させる。 ※評価②	デジタル教材
Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」 参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・ 振り返りをし、挨拶をする。	・ 児童の実態に合わせて1～3文字程度書く。 ・ 感想を発表させ、挨拶をする。	アルファベット ワークシート 振り返りカード

Let's go to Italy. 3/4 時間 目 標 行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 準 備 教師用絵カード（国旗・チャンツ用）、デジタル教材、（振り回りカード）。 巻末児童用絵カード（国旗：p.45 下段 あらかじめ切り分けさせておくとよい）		
--	--	--

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。（Hi, friends! Plus シングル Food 編）	・全員で対面をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 - Hi, friends! Plus
【Let's Chant】“Let's go to Italy.” バージョン① p.21 ・音声教材を聞き、絵カードを見ながら言う。	・音声教材（バージョン①）を聞かせ、教師用絵カードを見せながら、一緒に言う。	- 教師用絵カード（チャンツ用） - デジタル教材
○キーワードゲームをする。 （指導編 Hi, friends! 2 p.5 参照） ・指導者に、Where do you want to go? と尋ね、指導者がキーワードの国名を言ったら消しゴムを取る。	・児童に Where do you want to go? と尋ねさせ、I want to go to ～. と答える形でゲームをする。	- 教師用絵カード（国旗） - デジタル教材
○ラッキーカードゲームをする。 （指導編 Hi, friends! 2 p.31 参照） ・グループで、各自巻末児童用絵カードを用意してゲームをする。	・各児童に巻末児童用絵カードを用意させる。 ・児童に、Where do you want to go? と隣に尋ね、I want to go to ～. で答え、ゲームを行わせる。 ※評価	巻末児童用絵カード（国旗）
【Let's Play 3】 p.20 ・音声教材を聞いて、誌面 p.20 の表に、さくら、ひかる、ともえの行きたい国やその理由などを書く。 ・音声教材を参考に、友達に行きたい国についてインタビューする。教室内を移動して、出会った友達に行きたい国を尋ね、国名とその理由を誌面 p.20 の表に書く。	・田中先生がさくら、ひかる、ともえに行きたい国について尋ねている状況であることを知らせた上で、音声教材を聞かせ、行きたい国やその理由などを誌面 p.20 の表に書かせる。 ・音声教材を参考に、友達に行きたい国についてインタビューさせる。 ※評価	デジタル教材
【Let's Chant】“Let's go to Italy.” バージョン②・③ p.21 ・音声教材を聞いて、絵カードを見ながら言う。	・児童の実態に合わせて、バージョン②（I want to ～）やバージョン③（I can ～）の音声教材を聞かせ、教師用絵カードを見せながら一緒に言う。	- 教師用絵カード（チャンツ用） - デジタル教材
Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」 参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ・振り回りをし、挨拶をする。	・児童の実態に合わせて 1～3 文字程度書く。 ・感想を発表させ、挨拶をする。	- アルファベットワークシート - 振り回りカード

Let's go to Italy. 4/4 時間

目 標 世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付くとともに、自分の思いがはっきり伝わるようにおすすめの国について発表したり、積極的に友だちの発表を聞いたりしようとする。

準 備 教師用絵カード（国旗・食べ物・動物・スポーツ・チャンツ用）、デジタル教材、（振り返りカード）、
おすすめの国ポスター（あらかじめ児童に作らせておく）

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。（Hi, friends! Plus ジングル Food 編）	・全員で挨拶をし、個別に数名の児童と挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 Hi, friends! Plus
【Let's Chant】“Let's go to Italy.”バージョン②・③ p. 21 ・音声教材を聞いて、絵カードを見ながら言う。	・音声教材（バージョン②・③）を聞かせ、絵カードを見せながら一緒に言う。 ・違う国を選ばせ、言葉を考えて言わせる。	教師用絵カード（国旗・食べ物・動物・スポーツ・チャンツ用） デジタル教材
【Activity】 p. 21 ・誌面 p. 21 の写真を見て、さくらとひかるがどこへなぜ行きたいのか推測する。 ・確かめるために、音声教材を聞いてわかったことを、誌面の吹き出しに書く。 ・おすすめの国の紹介の仕方を知る。	・誌面 p. 21 の写真を見せて、さくらとひかるのおすすめの国を推測させる。 ・音声教材を聞かせ、わかったことを誌面の吹き出しに書かせる。 ・さくらとひかるのおすすめの国について、児童に行きたいかどうかを尋ねる。	デジタル教材
【Activity】 p. 21 ・行きたい国について発表の準備をする。 ・出会った友達に、自分のおすすめの国を説明する。説明の後、Let's go to ～. と誘う。聞いていた友達は、説明を聞いて行きたいと思ったら Yes, let's. と答え、もう少し考えてからと思ったら、Sorry. と答える。 ・活動後、何人が誘いに乗ってくれたか、誰のおすすめの国に行ってみたくなったかなどを発表する。	・予告しておいたように、行きたい国についてポスターを完成させ、それをもとに発表の仕方を各自に練習させる。 ・教室を自由に移動し、出会った友達に自分のおすすめの国をPRさせる。できるだけ、Yes, let's. と答えてもらえるよう紹介の仕方を工夫するよう促す。 ・自分のPRに対する反応はどうだったか、友達のおすすめの国を聞いてどう感じたかについて、感想を発表させる。 ※評価1・2	おすすめの国ポスター
【let's Read and Write】文字を書き写そう。 参考例に習って、文字の形に注意しながら、なぞったり、書き写したりする。 ・振り返りをし、挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、読んだり、書いたりする。 ・感想を発表させ、挨拶をする。	ワークシート 6-2 振り返りカード

2019 年度
小学校外国語活動
年間指導計画
指導案例集

第6学年

单元8～单元11

2019 年 3 月
那霸市教育委員会

2019年度 外国語活動 6学年 年間指導計画 一覧表(50時間)

		指導目標	主な表現	主な語彙	主な教材
4月	1	【慣】自己紹介を聞いて概要を捉え るとともに、好きな動物やスポー ツ、教科、食べ物などについて聞い たり言ったりしている。	I'm from(Okinawa) .I can(play soccer well). I'm good at (running). My birthday is(April 18th). What(color)do you like? What is yourfavorite(color)? When is yourr birthday?	動作 (running/singing). 誕生日(April 19th). color/subject/fruit/spo rt/animal	We can!2 Unit1
	2				
	3				
	4				
5月	5	【気】世界の様々な行事に興味を持 ち、月の言い方を知る。	When is your birthday? My birthday is March eighteenth.	月 (January,February, March,April,May, June, July,August, September,October, November,December) 序数 (first,second, ...,thirty first:自分の 誕生日)	Hi,Friends !2 Lesson2
	6				
	7				
	8				
6月	9	【慣】自分や友達について、日頃し ていることや趣味などの特徴を話し たり、聞いたりしておおよその内容 がわかる。	I[like/play](baseball). [have/want](anew ball). I eat(spaghetti). study(math). I can[swim/cook/skate/ ski/sing/dance].I can(play baseballwell). [He/She]is[famous/ great].	famous,nut,old, racket	We can!2 Unit3
	10				
	11				
	12				
	13				
7月	14	【慣】自分たちの町のよさや改善点 を聞いて、その内容が分かる。	We[have/don't have] (a gym). We can(play basketball). I want a[library/ park]. (Sakura)is nice.	town, 施設と建物 (amusement park, aquarium, swimming pool, stadium,roller coaster,Ferris wheel) , but, so, nature, 動作 (dancing, jogging, playing,reading, shopping,singing, swimming)	We can!2 Unit4
	15				
	16				
	17				

9月	18	単元5	My summer Vacation. ④	4	【気】過去の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所を言ったり聞いたりすることができる。	I went to my (grandparent's place). It was(fun). I enjoyed(fishing). It was(exciting). I saw(the blue sea). It was(beautiful).	grandparent, vacation, 動詞の過去形 (went,ate,saw, enjoyed, was) 自然 (beach, mountain,sea,lake, river), 動作 (fishing,hiking, camping)	We can!2 Unit5
	19				【慣】過去の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所と食べ物を言ったり聞いたりすることができる。			
	20				【慣】過去の表現の仕方がわかり、夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだことを言ったり聞いたりすることができる。			
	21				【コ】過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだことやその感想を言ったり聞いたりすることができる。			
	22				単元6			
23	【慣】オリンピック、パラリンピックに関する話を聞いて内容がわかる。							
24	【コ】オリンピック、パラリンピックに関する話を聞いて内容が分かるとともに、観たい競技やしたいスポーツについて、聞いたり答えたりする。							
25	【コ】観たい競技やしたいスポーツについて聞いたり、答えたりする。							
10月	26	単元7	Let's go to Italy. ④	4		【気】国名の言い方を知る。	I want to go to Italy. Where do you want to go? Let's go.	国名 (America, Australia,Brazil, China,Egypt, France,Greece, India, Japan, Spain) 動作 (eat,see)
	27				【慣】行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。			
	28				【慣】行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。			
	29				【コ】世界では様々な人たちが様々な生活をしていることに気づくとともに、自分の思いがはっきり伝わるようにおすすめの国について発表したり、積極的に発表を聞いたりしようとする。			
	11月				30	単元8		
31		【慣】動作や時刻の言い方に慣れ親しむとともに、生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現を知る。						
32		【慣】生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。						
33		【慣】生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。						
34		【慣】【コ】時差があることに気づくとともに、相手に伝わるように工夫して自分の生活を紹介しようとする。						

1月	35	単元9	My best memory. ⑥	6	【慣】過去の表し方が分かるとともに、学校行事について話を聞いて内容が分かる。	What's your best memory? My best memory[is/was](our schooltrip). We[went to (kyoto)/ate(Japanese foods)/saw(old temples) /enjoyed(the trip)]	best,memory, 学校行事(sportsfestival, entrance,ceremony, graduation,ceremony , swimimin g,meet,field trip,school trip,musicfestival, volunteer day, drama estival)	We can!2 Unit7
	36				【気】好きな行事が何か尋ねたり、答えたりするとともに、世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気づく。			
	37				【コ】世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気づくとともに思い出の行事について伝え合う。			
	38				【コ】世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気付くとともに思い出の行事について伝え合う。			
	39				【慣】小学校の思い出について、今まで写してきた英語を推測して読んだり、例文を参考に書いたりする。			
	40				【コ】小学校6年間の学校生活で1番心に残っている思い出を理由も含めて他者に配慮しながら伝えようとする。			
2月	41	単元10	What do you want to be? ④	4	【慣】様々な職業の言い方を知る。	I want to be a teacher. What do you want to be? I want to join the (basketball).	職業 (doctor,cook,farmer, florist,singer,fire, fighter,soccer,player, bus driver,cabin attendant,vet,zookee per, comedian,baker,dentist, artist)member,term, club, join, junior,high	We can!2 Unit8
	42				【慣】【気】様々な職業の言い方に慣れ親しみ、職業を表す語について、英語と日本語の共通点に気づく。			
	43				【気】世界には様々な夢を持つ同年代の子供がいることに気付き、就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。			
	44				【コ】相手意識を持って自分の夢を紹介しようとする。			
3月	45	単元11	Junior high school life. ⑥	6	【慣】中学校生活の部活動についての話を聞いて、必要な情報を聞き取る。	I like(baseball). I want to join the (basketball team).What club do you want to join? I want to enjoy (spoetsday). What event do you want to enjoy? I want to (study hard).	member, team, club,practice,join,junior,us,event,uniform,t est,whale	We can!2 Unit9
	46				【慣】中学校生活の学校行事についての話を聞いて、おおよその内容がわかり、入りたい部活動を伝えようとしている			
	47				【慣】中学校の先生たちについてのスピーチを聞いて、内容がわかるとともに楽しみな学校行事を伝えようとしている。			
	48				【コ】中学校生活の部活動や学校行事について尋ねたり答えたりしている。			
	49				【コ】中学校での部活動や学校行事について伝えあおうとしている。			
	50				【慣】中学校生活の部活動や学校行事について、スピーチをしようとしている。			

6 年一単元8

What time do you get up?

単元目標

- ・積極的に自分の1日を紹介したり、友達の1日を聞き取ったりしようとする。
- ・生活を表す表現や、1日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。
- ・世界には時差があることに気づき、世界の様子に興味をもつ。
- ・相手に伝わるように工夫して自分の1日を紹介している。
- ・1日の生活の時刻を尋ねたり言ったりしている。
- ・世界には時差があることや、世界はつながっていることに気付いている。

単元評価規準

表現

I get up at seven. What time do you get up?
get up, go to school/bed

単元計画（5時間）

時	目標と主な活動	評価			評価規準<方法>
		コ	価	気	
1	動作や時刻の言い方を知る。 【P 1】「ナンバーゲーム」1～60の数を言う。 ○「何時か当てよう。」指導者が両腕で示す時刻を答える。 【L 1】「時計に針や数字を書こう。」時刻を聞き取って、時計に数字や針を書き込む。 ○「ジェスチャーゲーム」指導者のする動作を言い当てる。 【P2】「おはじきゲーム」動作を表す表現を聞いてゲームをする。 【C】“What time do you get up?”				本時は、原則として評価結果は記録しないが、目標に向けての指導はする。
2	動作や時刻の言い方に慣れ親しむとともに、生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現を知る。 【P 1】「ナンバーゲーム」1～60の数を言う。 ○「メモリーゲーム」動作を表す表現を聞いて、ゲームをする。 【L 2】「()に時刻を書いて、さくらとあなたの一日を比べよう。」音声教材を聞いて、時刻を()に書く。 【A1】「先生の一日を予想して、インタビューしよう。」指導者の起床、登校、就寝の時刻を予想して書き、実際の時刻を尋ねて回答を書く。 【C】“What time do you get up?”				・動作や時刻を聞いている。<行動観察・誌面点検・振り返りカード点検> ・動作や時刻を聞いている。<行動観察・誌面点検・振り返りカード点検>
3	生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 【P 1】「ナンバーゲーム」1～60の数を言う。 【C】“What time do you get up?” 【L 3】「世界の時刻を四角に書こう。」日本が午前8時のときに、他の国は何時かを聞きとり、絵の下に時刻を書き込む。 ○「ステレオゲーム」				・生活を表す表現や時刻を聞いている。 <行動観察・誌面点検・振り返りカード点検> ・生活の時刻を尋ねたり言ったりしている。 <行動観察・振り返りカード点検>
4	生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 【C】“What time do you get up?” ○「チェーンゲーム」 ○「友達的生活の時刻を知ろう。」教室内を自由に動いて、友達に生活の時刻を尋ね合って記録し発表する。 ○「ニューヨークの生活と比べよう。」				・生活の時刻を尋ねたり言ったりしている。 <行動観察・ワークシート点検・振り返りカード点検> ・生活の時刻を尋ねたり言ったりしている。 <行動観察・ワークシート点検・振り返りカード点検>
5	時差があることに気付くとともに、相手に伝わるように工夫して自分の生活を紹介しようとする。 【C】“What time do you get up?” 【A 2】日課表に自分の生活時刻を書き込み、ペアになって、生活の時刻を尋ね合い、お気に入りの日課と時刻を教え合う。 ○「自分の1日と外国の時刻をつなげよう。」				・相手に伝わるように工夫して自分の1日を紹介している。 <行動観察・振り返りカード点検> ・相手に伝わるように工夫して自分の1日を紹介している。 <行動観察・振り返りカード点検> ・世界には時差があることや、世界はつながっていることに気付いている。 <行動観察・振り返りカード分析>

6年一単元8 What time do you get up? 1/5 時間

目 標 動作や時刻の言い方を知る。

準 備 教師用絵カード (動作)、デジタル教材、(振り回りカード)。

おはじき

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Food 編)	・全体で挨拶をし、個別に数名の児童で挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 - Hi, friends! Plus
【Let's Play 1】 p. 22 ・ナンバーゲームをする。1～60 を全員で言う。音声教材で、言い方を確認し、再度全員で言う。 ・1人ずつ1～60の数を言っていく。 ・自分の数字が3の倍数の場合は、言わずに、手をたたくなどさせる。	・指導者も一緒に、1～60を言う。音声教材で、誌面 p. 22 の周りの数字を見ながら1～60の数の言い方を確認し、再度指導者も一緒に言う。 ・1人ずつ順に1～60の数字を1つずつ、いわせる。 ・慣れてきたら、自分の数字が3の倍数であれば、手をたたくなどさせる。	デジタル教材
○「何時か当てよう。」 ・指導者が両腕で示す時刻を答える。	・両腕を時計の針に見立てて時刻を示し What time is it? と尋ねる。 ・時刻は、「1～12 時」で表せるものにする。慣れてきたら、「30 分」を入れる。	
【Let's Listen 1】 p. 22 ・時刻を聞き取って、時計に数字や針を書き込む。	・時刻の音声を聞かせ誌 p. 22 の時計に時刻を書き込ませる。 ・時刻を尋ねるやり取りで答え合わせをする。	デジタル教材
○ジェスチャーゲームをする。 (指導書 Hi, friends! 2 p. 30 参照) ・動作の言い方を知る。 ・指導者がするジェスチャーを見て、動作を英語で言って当てる。	・まず、生活の様子を動作で表わしながら、動作の言い方を紹介する。 ・生活の様子を動作であらわし、それが何か尋ねる。	教師用絵カード (動作)
【Let's Play 2】 p. 22 ・誌面 p. 22 の動作の絵から5つ選び、おはじきを置く。音声教材 (指導者) が言う動作の絵におはじきを置いていたら取る。早くおはじきがなくなったら勝ちとなる。	・音声教材で、生活を表す表現を聞かせる。	教師用絵カード (動作) おはじき デジタル教材
【Let's Chant】 "What time do you get up?" p. 24 ・音声教材を聞きながら言う。	・音声を聞かせながら一緒に言う。	デジタル教材
○「文字を詰めて書こう。」 ・各アルファベットの小文字を、例にならって三つまとめて書く。 ○「文字をなぞって単語を完成しよう」 ・単語の中のグレー部分を丁寧になぞる。	・児童が文字を書くことに飽きないよう、毎回少しずつ丁寧に書かせる。 ※アルファベットカードを使って、カード並べやカルタ取りなどもできる。	Hi, friends! Plus 等のワークシート参照

6 年一単元8 What time do you get up? 2/5時間

目 標 動作や時刻の言い方に慣れ親しむとともに、生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現を知る。

準 備 教師用絵カード（動作）、デジタル教材、（振り仮名カード）、

巻末児童用絵カード（動作）

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Food 編)	・全員で挨拶をし、個別に数名の児童が挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
【Let's Play 1】 p.22 ・ナンバーゲームをする。1～60 を全員で言う。 ・1人ずつ1～60の数を言っていく。 ・自分の数字が3や5の倍数の場合は、言わずに、手をたたくなどする。	・誌面 p. 22 の周りの数字を見ながら1～60の数を一緒に言う。 ・1人ずつ順に1～60の数字を1つずつ言わせる。 ・慣れてきたら、自分の数字が3や5の倍数であれば、手をたたくなどさせる。	デジタル教材
○メモリーゲームをする。 (指導書 Hi, friends! 2 p. 30 参照) ・各グループで、巻末児童用絵カード1組を用意する。	・各グループに、巻末児童用絵カード1組を用意させ、ゲームをする。 ・誌面 p. 22 の動作の絵から選んで、I get up at 6:00. などと生活の表現を4～8文言う。 ・各グループが巻末児童用絵カードを並べ終わるのを確認してから、生活の表現をみんなで言って答えを確認する。	教師用絵カード（動作） 巻末児童用絵カード（動作）
【Let's Listen 2】 p. 23 ・音声教材を聞いて、さくらの生活時刻を（ ）に書く。	・誌面の絵のさくらの動作を確認する。 ・音声教材を聞かせ、（ ）に起床・登校・就寝の時刻を書かせる。 ・What time do you get up/go to school/go to bed? などと尋ねて各自の生活と比較させる。 ※評価	デジタル教材
【Activity 1】 p. 23 ・先生の起床、登校、就寝の時刻を予想して表に書き、実際の時刻を尋ねてその回答を表に書く。	・起床・登校・就寝の時刻の尋ね方を音声教材で確認する。 ・予想を書かせた後、児童の What time do you ～? の問いに答える。 ・Let's listen 2 のさくらの時刻と比較する。 ・他の日課についても紹介する。 ※評価	デジタル教材
【Let's Chant】 "What time do you get up?" p. 24 ・音声教材を聞きながら言う。	・音声教材を聞かせながら一緒に言う。	デジタル教材
○「文字を詰めて書こう。」 ・各アルファベットの小文字を、例にならって三つまとめて書く。 ○「文字をなぞって単語を完成しよう」 ・単語の中のグレー部分を丁寧になぞる。	・児童が文字を書くことに飽きないよう、毎回少しずつ丁寧に書かせる。 ※アルファベットカードを使って、カード並べやカルタ取りなどもできる。	Hi, friends! Plus 等のワークシート参照

6年一単元8	What time do you get up? 3/5時間
目 標	生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。
準 備	教師用絵カード（動作）、デジタル教材、（振り仮名カード）

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Food 編)	・全体で挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
【Let's Chant】"What time do you get up?" p. 24 ・音声教材を聞きながら言う。	・音声教材を聞きながら一緒に言う。 ・動作や時刻を替えて言わせる。	デジタル教材
○チェンゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 33 参照) ・グループで1列になり、ゲームをする。	・代表児童とデモンストレーションなどをして、ゲームのやり方を理解させる。 ・What time do you get up/go to bed?, I get up/go to bed at ~. とやり取りさせ、列の最後尾の児童に、At seven, six, seven, seven. I get up/go to bed at ~. などと、全員の答えも含めて自分の答えを言わせる。	
○「友だちの生活の時刻を知ろう。」 ・教室内を自由に動いて、3人の友達に生活の時刻を尋ね合ってワークシートに記録する。 ・自分が聞き取った中で早起きの友達などを発表し合う。	・起床・夕食・朝食についてその時刻を尋ね合いワークシートに記入させる。 ・慣れてきたら、起床・夕食・朝食以外の時刻も尋ね合わせたりする。 ・尋ね合う人数は、実態や時間に合わせて調節する。 ※評価	ワークシート⑥-1 (インタビュースート1)
○「ニューヨークの生活と比べよう。」 ・指導者に1日の生活の時刻を尋ね、答えをワークシートの「日本」の欄に書く。 ・さらに同じ時のニューヨークの時刻を書く。また、その時刻に指導者がニューヨークにいたら何をしているか考えて発表し合う。	・ワークシートに描かれている動作の時刻を尋ねさせ、自分の1日の生活について答える。 ・日本とニューヨークの時差を確認する。実際はニューヨークの時刻が14時間遅れているが、計算するときは10時間足すとよいことに気付かせ、指導者の1日の生活時刻と同じ時のニューヨークの時刻を「ニューヨーク」の欄に書かせる。 ・時刻についてのやり取りをしながら答え合わせをする。 ・同じ時刻に、もし指導者がニューヨークにいたら何をしているか考えさせる。 ※評価	ワークシート⑥-2 (インタビュースート2)
○「文字を詰めて書こう。」 ・各アルファベットの小文字を、例にならって三つまとめて書く。 ○「文字をなぞって単語を完成しよう」 ・単語の中のグレー部分を丁寧になぞる。	・児童が文字を書くことに飽きないよう、毎回少しずつ丁寧に書かせる。 ※アルファベットカードを使って、カード並べやカルタ取りなどもできる。	Hi, friends! Plus 等のワークシート参照

6年一単元8 What time do you get up? 4/5時間

目標 生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。

準備 ワークシート⑥-1・2 (インタビューシート1・2)、デジタル教材、(振り返りカード)

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Food 編)	・全体対面をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
【Let's Play 1】 p.22 ・ナンバーゲームをする。1～60を全員で言う。 ・1人ずつ1～60の数を書いていく。 ・自分の数字が3や5の倍数の場合は、言わずに、手をたたくなどする。	・誌 p. 22 の周りの数字を見ながら1～60の数と一緒に言う。 ・1人ずつ順に1～60の数字を1つずつ言わせる。 ・慣れてきたら、自分の数字が3や5の倍数であれば、手をたたくなどさせる。	・デジタル教材
【Let's Chant】 "What time do you get up?" p. 24 ・音声教材を聞きながら言う。	・音声教材を聞かせながら一緒に言う。 ・動作や時刻を替えて言わせる。	・デジタル教材
【Let's Listen 3】 p. 24, 25 ・日本（東京）、中国（北京）、アメリカ（ニューヨーク）、オーストラリア（シドニー）、ロシア（モスクワ）、イギリス（ロンドン）、ブラジル（サンパウロ）について、日本が午前8時のときに、何時か聞き取り、都市と絵を線で結び、時刻を書き込む。	・地図上の都市がどこか確認させる。番別類に音声教材を聞かせて、都市と絵を線で結び、時刻を書き込ませる。 ・音声教材の時刻は、東京が午前8時のときの時刻であることを確認する。 ・実態に応じて、番別類ではなく順不同に聞かせる。 ・誌面 p. 24, 25 の地図上の日付変更線や、世界の時差について簡単に触れ、世界には時差があることについての気付きを促す。 ※評価①	・デジタル教材
○ステレオゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 17 参照) ・誰が何時刻に起床・登校・就寝するか聞き取る。 ・指導者と一緒に、代表児童に What time do you get up/go to school/go to bed? と尋ねる。	・起床・登校・就寝の動作のどれを扱うかを確認してから、代表児童に What time do you get up/go to school/go to bed? で時刻を尋ねる。 ・慣れてきたら、ほかの児童にも一緒に尋ねさせる。 ※評価②	・教師用絵カード（動作）
○「文字を詰めて書こう。」 ・各アルファベットの小文字を、例にならって三つまとめて書く。 ○「文字をなぞって単語を完成しよう」 ・単語の中のグレー部分を丁寧になぞる。	・児童が文字を書くことに飽きないように、毎回少しずつ丁寧に書かせる。 ※アルファベットカードを使って、カード並べやカルタ取りなどもできる。	・Hi, friends! Plus 等のワークシート参照

6年一単元8

What time do you get up? 5/5時間

目 標 時差があることに気付くとともに、相手に分かるように工夫して自分の生活を紹介しようとする。

準 備 ワークシート⑦（一日の生活紹介シート）、デジタル教材、（振り返りカード）

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。（Hi, friends! Plus ジングル Food 編）	・全員の写影をし、個別に数名の児童に写影をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
【Let's Chant】“What time do you get up?” p.24 ・音声教材を聞きながら言う。	・音声を聞かせながら一緒に言う。 ・慣れてきたら動作や時刻を替えて言ってみる。	デジタル教材
【Activity 2】 p.25 ・誌面の日課表に自分の生活時刻を書き込む。 ・空欄には、get up と、go to school, go to bed のほかに、お気に入りの日課を1つ、文字や絵でかき込む。 ・ペアなどになって起床、登校、就寝の時刻を尋ね合い、お気に入りの日課と時刻を教える。	・ペアを替えたり、グループで聞き合ったりするなど、実態に応じた形態で行う。 ・「お気に入りの日課」は英語で表現することが難しい場合は、日本語で紹介させる。 ・自分の日課の時刻に合わせて海外都市の時刻を書かせることで、時差を身近に感じさせるようにする。 ※評価②	
○「自分の1日と外国の時刻をつなげよう。」 ・ワークシートに、起床と就寝のほかに2つ、お気に入りの日課や、自分で選んだ日課を空欄に絵や文字でかく。 ・日課について時刻をすべて書く。 ・「日本の（ ）」には、自分たちの住んでいるところの地名を書く。 ・誌面 p. 24, 25 の見開き世界地図を参考に、自分が選んだ海外の国名と都市名を、ワークシート「～（ ）」に書き、その地の時刻も書いて自分の日課とリンクさせる。 ・生活表を見せながら、グループの中で自分の1日について紹介し、グループの代表が、前で発表する。	・「お気に入りの日課」は英語で言うことが難しい場合は、日本語で紹介させる。 ・可能なら、海外の地名を隠して時差からどこかを推測して当てさせる。 ※評価①②	ワークシート⑦（一日の生活紹介シート）
○「文字を詰めて書こう。」 ・各アルファベットの小文字を、例にならって三つまとめて書く。 ○「文字をなぞって単語を完成しよう」 ・単語の中のグレー部分を丁寧になぞる。	・児童が文字を書くことに飽きないように、毎回少しずつ丁寧に書かせる。 ※アルファベットカードを使って、カード並べやカルタ取りなどもできる。	Hi, friends! Plus 等のワークシート参照

6年 単元9

My best memory. (『We can!2』Unit7)

1. 単元目標

- ・過去の表し方が分かるとともに、学校行事について話を聞いて内容がわかる【慣】
- ・好きな行事が何か尋ねたり、答えたりするとともに、世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気づく。【気】
- ・世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気づくとともに、思い出の行事について伝え合う。【気】【コ】

2. 単元評価規準

- 【慣】学校行事について表す語句に慣れ親しむ。
- 【気】世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気付く。
- 【コ】思い出の学校行事について伝え合おうとする。

3. 表現 [主な表現]

What's your best memory? My best memory [is/was] (our school trip). We [went to (Kyoto)/ate (Japanese foods) / saw (old temples) /enjoyed (the trip)]

[主な語彙]

best, memory, 学校行事(sports festival, entrance,ceremony,graduation,ceremony,swimming, meet, field trip, school trip, music festival, volunteer day, drama festival)

単元計画 (6時間)

時	目標と主な活動	評価規準<方法>		
		コ	慣	気
1	◆過去の表し方が分かるとともに、学校行事についての話を聞いて内容がわかる。 ・「Small Talk」 ・(WC2-U5) 【Let's Chants】 「Summer Vacation」 ・(WC2-U7) 【Let's Watch and Think1】 「小学校の行事について聞こう」 ・(WC2-U7) 【Let's play】 「Pointing Game」 ・(WC2-U7) 【Let's Listen1】 「学校行事の話を聞こう。」 ・(WC2-U7) 【Let's Listen1】 「What's your best memory?」 ・Let's read and write. ①P56 「言葉を選んで書き写そう」		○	・学校行事についての話を聞いて内容がわかり番号を記入している。〈発表、行動観察・振り返りカード点検〉
2	◆好きな行事が何か尋ねたり答えたりするとともに、世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気づく。 ・「Small Talk」 ・(WC2-U7) 【Let's Chants】 「What's your best memory?」 ・「集中力ゲーム」 ・(WC2-U7) 【Let's Listen 2】 「音声を聞いて写真を選ぼう。」 ・(WC2-U7) 【Let's Talk】 「好きな行事を予想してたずね合おう」 ・(WC2-U7) 【Let's Watch and Think2】 「映像を見て分かったことを発表しよう」 ・Let's read and write.② p 5 6 「言葉を選んで書き写そう」			○ ・映像を視聴し、世界の学校行事について情報を聞き取り、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 ・学校行事について感想を伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
3	◆世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気づくとともに、思い出の行事(運動会)について伝え合う。 ・「Small Talk」 ・(WC2-U7) 【Let's Chants】 「What's your best memory?」 ・(WC2-U7) 【Let's Listen3】 「学校生活の思い出について聞こう」 ・(WC2-U7) 【Let's Watch and Think2】 「映像を見て分かったことを発表しよう」 ・「学校生活の思い出について話そう」 ・Let's read and write.③ p 5 6 「言葉を選んで書き写そう」	○		○ ・映像を視聴し、学校行事について情報を聞き取っている。〈行動観察・ふり回りカード点検〉 ・運動会について、その感想も含めて伝え合っている。〈行動観察・ふり回りカード点検〉
4	◆世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気づくとともに、思い出の行事(野外学習や修学旅行)について伝え合う。 ・「Small Talk」 ・(WC2-U7) 【Let's Chants】 「What's your best memory?」 ・(WC2-U7) 【Let's Watch and Think3,4】 「映像を見て分かったことを発表しよう」 ・「学校生活の思い出について話そう」 ・Let's read and write. 「言葉を選んで書き写そう。」	○		○ ・映像を視聴し、学校行事について情報を聞き取っている。〈行動観察・ふり回りカード点検〉 ・野外学習や宿泊研修について、その感想も含めて伝え合っている。〈行動観察・ふり回りカード点検〉

5	◆小学校の思い出について、今まで写してきた英語を推測して読んだり、例文を参考に書いたりする。 (WC2-U7) 【 Let's Chants 】 「What' s your best memory?」 ・ 「Small Talk」 【Let's Talk】 「学校生活の思い出について話そう」 ・ Let's read and write. p 5 6 「言葉を選んで書き写そう」		○	・ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれている思い出に関する文を読もうとしている。〈行動観察・ふり返しカード点検〉 ・ 人に伝えるという目的をもち、自分の思い出について発表している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉
6	◆小学校6年間の学校生活で一番心に残っている思い出を、理由も含めて他者に配慮しながら伝えようとする。 ◆短い話を聞いて内容を理解し、英語の音を意識して読もうとする。 ・ 「Small Talk」 ・ (WC2-U7) 【 Let's Chants 】 「What' s your best memory?」 ・ (WC2-U7) 【 Activity 】 「学校生活の思い出について伝え合おう」 ・ (WC2-U7) 【 STORY TIME 】	○	○	・ 人に伝えるという目的をもち、自分の思い出について発表している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 ・ 短い話を聞いて内容を理解している。〈行動観察・振り返りカード点検〉

6年 単元9

My best memory. 1/6 時間

目標：過去の表し方が分かるとともに、学校行事についての話を聞いて内容がわかる。

準備：デジタル教材、巻末絵カード

児童の活動	指導者の活動	準備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
○Small Talk 指導者の話を、反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。	・担任とALT, 児童同士で短い会話をする。 ・一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。	
Small Talk の例 S1 : I enjoyed eating osechi during winter vacation. S2 : You enjoyed eating osechi? That sounds interesting. S1 : How about you? S2 : I enjoyed having a Christmas party. It was exciting.		
○ (WC2-U7) 【Let's Chants】 「Summer Vacation」 ・音声聞いて、登場人物がどの行事のことを話しているかを聞き取り、番号を書く。	・まとまりのある文章で音声も速いため、一度音声を聞いた後に、ALT が速度を下げて読み返すなどの手立ての工夫をしながら取り組む。	・デジタル教材
○ (WC2-U7) 【Let's Watch and Think1】 「小学校の行事について聞こう」 ・p55, 51 の誌面を見て、入学式が書かれている4月から時計回りに月の言い方を復習する。その際、それぞれの月に書かれている行事が何かを考えさせる。 ・デジタル教材でALT が話す学校行事についての映像を見て、分かったことを□に書く。	・視聴後、指導者は What event do you have? などと児童に尋ね、行事名の言い方に慣れさせる。	・デジタル教材
○ (WC2-U7) 【Let's Play】 「Pointing Game」 ・指導者は月名と行事名を言う。児童は指導者が言う行事のイラストをさし示す。 ・指導者は児童の様子を見ながら何度も聞かせ、児童全員が絵をさし示したあとに、教師用絵カードを提示して確認する。	・指導者は p50, 51 の誌面の行事について、既習表現を使って児童とやり取りを行うとよい。例えば、school trip のイラストを指しながら、Where did we eat?, Where did we go? などと、過去形を使った質問などを投げかけることが考えられる。	・教師用絵カード
○ (WC2-U7) 【Let's Listen1】 「学校行事の話を聞こう」 ・音声聞いて、登場人物がどの行事のことを話しているかを聞き取り、番号を書く。	・どのような行事が思い出に残っていて、それについてどのような感想を持っているか言うために表現を知ること狙いに活動を行う。	・デジタル教材
○ (WC2-U7) 【Let's Chants】 「What's your best memory?」 ・音声を聞き、絵カードを見ながら言う。		・デジタル教材
○Let's Read and Write. 「文字を書き写そう。」 ・参考例に習って、文字の形に注意しながらなぞったり、書き写したりする。 ○振り返り ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて読んだり、書いたりする。 ・感想を発表する。 ・挨拶をする	・ワークシート*unit7-1 ・振り返りカード

6年 単元9

My best memory. 2/6 時間

目標：好きな行事が何か尋ねたり答えたりするとともに、世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気づく。

準備：デジタル教材、巻末絵カード、フラッシュカード

児童の活動	指導者の活動	準備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
○Small Talk : ・指導者の話を、反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。	・既習の表現を使って担任とALTや児童同士で短い会話をする。 ・一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。	
○(WC2-U7) 【Let's Chants】 「What's your best memory?」 ・音声を聞き、絵カードを見ながら言う。		・デジタル教材
○集中力ゲーム ・児童は絵カードを机に広げる。指導者はいくつかの学校行事の名前を続けて言う。児童は指導者が言った順番通りに絵カードを並べる。 ・教師用絵カードなどを使いながら、答え合わせをする。		・教師用絵カード
○(WC2-U7) 【Let's Listen2】 「音声を聞いて写真を選ぼう。」 ・3人の児童が学校行事について話す内容の音声を聞き、該当する写真の口に番号を記入する。	・音声を流す前に、4つの写真が何の写真なのかクラスで確認しておくといふ。	・デジタル教材
○(WC2-U7) 【Let's Talk】 「好きな行事を予想してたずね合おう」 ・友達の好きな行事を予想し、どのような行事が好きか尋ね合って、口に友達の名前を記入する。	・はじめに指導者と何人かの代表児童で活動を行い、表現に慣れさせるようにする。 “What is your best memory?” “My best memory is ….”	
○Sounds and Letters. 「アルファベットを書こう。」 ・参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ○振り返り ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて1～3文字程度書く。 ・感想を発表する。 ・挨拶をする	・ワークシート ・振り返りカード

6年 単元9

My best memory. 3/6 時間

目標：世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気づくとともに、思い出の行事について伝え合う。

準備：デジタル教材

児童の活動	指導者の活動	準備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル)	- 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 - デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 - 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	デジタル教材
○Small Talk： 指導者の話を、反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。	- 既習の表現を使って担任と ALT、児童同士で短い会話をする。 - 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 ※small talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p84, p85 を参照。	
○ (WC2-U7) 【Let's Chants】 「What's your best memory?」 音声を聞き、絵カードを見ながら言う。	一緒にチャンツを言う。	
○ (WC2-U7) 【Let's Listen3】 「学校生活の思い出について聞こう」 世界の様々な学校行事についてまとまった話を聞き、登場人物と写真、感想のイラストを線で結ぶ。	- 活動を始める前に、誌面の国旗をヒントにしながら、Where is she/he from? She/he is from～. のように出身国を確認するようにしたい。 1回目で人物と行事のイラストを線で結ぶ。2回目で行事とその感想を結ぶなど、何回か音声を聞かせて段階的に線で結ぶようにするとよい。 - 行事について児童とやり取りをし、単元終末の活動につながるようにする。	デジタル教材
○ (WC2-U7) 【Let's Watch and Think2】 「映像を見て分かったことを発表しよう。」 外国の子どもが小学校の思い出について話すことを聞き、分かったことを発表する。	音声は一文が長く、知らない単語も出てくるため、事前に写真を見ながらどのような内容なのかクラスで予想しておくといよい。	デジタル教材
○ 【Let's Talk】 「学校生活の思い出について話そう」 これまで学習したことを参考に、運動会のことをふり返り、指導者の質問に答える。この活動を通して、I enjoyed ～. It was ～. という表現に慣れる。	思い出の学校行事とその時の気持ちを伝え合う例：I enjoyed ～. It was fun/exciting. などの言い方を想起できるようにする。	
○Let's Read and Write. 「文字を書き写そう。」 - 参考例に習って、文字の形に注意しながらなぞったり、書き写したりする。 ○振り返り - 振り返りカードに記入する。 - 挨拶をする。	- 児童の実態に合わせて読んだり、書いたりする。 - 感想を発表する。 - 挨拶をする	- ワークシート *Unit7-4 - 振り返りカード

6年 単元9

My best memory. 4/6 時間

目標：世界の学校生活の様子から日本との相違点や共通点に気づくとともに、思い出の行事（野外学習や修学旅行）について伝え合う。

準備：デジタル教材，ワークシート（unit7）

児童の活動	指導者の活動	準備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus シングル)	- 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 - デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 - 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	デジタル教材
○Small Talk： 指導者の話を、反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。	- 既習の表現を使って担任と ALT、児童同士で短い会話をする。 - 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 ※small talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p84, p85 を参照。	
○(WC2-U7) 【Let's Chants】 「What's your best memory?」 音声を開き、絵カードを見ながら言う。	一緒にチャンツを言う。	
○(WC2-U7) 【Let's Watch and Think 3】 「学校生活の思い出について聞こう」 外国の子どもが小学校の思い出について話すことを聞き、分かったことを発表する。	- 活動を始める前に、誌面の国旗をヒントにしながら、Where is she/he from? She/he is from～. のように出身国を確認するようにしたい。 - 行事について児童とやり取りをし、単元終末の活動につながるようにする。	デジタル教材
○(WC2-U7) 【Let's Watch and Think 4】 「学校生活の思い出について聞こう」 外国の子どもが小学校の思い出について話すことを聞き、分かったことを発表する。	音声は一文が長く、知らない単語も出てくるため、事前に写真を見ながらどのような内容なのかクラスで予想しておくといよい。	デジタル教材
○【Let's Talk】「学校生活の思い出について話そう」 これまで学習したことを参考に、運動会のことをふり返り、指導者の質問に答える。この活動を通して、I went to～. I saw～. I enjoyed～. It was～.という表現に慣れる。	思いの学校行事とその時の気持ちを伝え合う 例：I enjoyed～. It was fun/exciting, などの言い方を想起できるようにする。	
○Let's Read and Write. 「文字を書き写そう。」 - 参考例に習って、文字の形に注意しながらなぞったり、書き写したりする。 ○振り返り - 振り返りカードに記入する。 - 挨拶をする。	- 児童の実態に合わせて読んだり、書いたりする。 - 感想を発表する。 - 挨拶をする	- ワークシート *Unit7-5 - 振り返りカード

6年 単元9

My best memory. 5/6 時間

目標：小学校の思い出について、今まで写してきた英語を推測して読んだり、例文を参考に書いたりする。

準備：デジタル教材、ワークシート unit7

児童の活動	指導者の活動	準備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus シングル)	- 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 - デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 - 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	デジタル教材
○ (WC2-U7) 【Let's Chants】 「What's your best memory?」 音声を開き、絵カードを見ながら言う。	一緒にチャンツを言う。	
○Small Talk：小学校の思い出 指導者の話を、反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。	- 既習の表現を使って担任と ALT、児童同士で短い会話をする。 - 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 ※small talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p84, p85 を参照。	
○【Let's Talk】 これまでの活動を生かし、ペアで実際思い出に関する文を言い合い、どのような内容を伝えるか、どのように伝えるかについて話し合う。	みんなに伝えたい小学校生活で一番思い出に残ることを決め、その後ペアで伝え合うように言う。	
○Let's Read and Write. - ワークシートを見ながら、ワークシートにある英文が読まれる音声を聞いて、後について言う。 - 文字を指で追いながら読む。	※ワークシート (unit7-7) では、We saw many animals. となっていること、また、We went to Nara. We saw shrines. は記載されていないことに留意する。	ワークシート
○【Activity】 「思い出カードを作ろう」 これまで書きためた文を参考に、カードを作る。(絵日記風)	- ワークシートの文を参考に思い出のカードを作ることを伝える。 - 自分の思い出として伝えたい内容を考え、ワークシート (unit7-8) に書くように言う。	- ワークシート *Unit7-8
○振り返り - 振り返りカードに記入する。 - 挨拶をする。	- 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 - 挨拶をする	振り返りカード

6年 単元9

My best memory. 6/6 時間

目標：小学校6年間の学校生活で一番心に残っている思い出を、理由も含めて他者に配慮しながら伝えようとする。

短い話を聞いて内容を理解し、英語の音を意識して読もうとする。

準備：デジタル教材

児童の活動	指導者の活動	準備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi.friends!Plusデジタル)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
○ (WC2-U7) 【Let's Chants】 「What's your best memory?」 ・音声を聞き、絵カードを見ながら言う。	・一緒にチャンツを言う。	・デジタル教材
○【Activity】 思い出カードを紹介しよう ・登場人物 Yumi の思い出を聞いて、自分の発表の参考にする。 ・前時に書いた思い出カードを自分で読んでみる。 ・前時に書いた思い出カードをペア→グループで見せ合う。	・登場人物が自分の思い出を話している音声を聞かせ、思い出カードの参考にしよう伝える。 ※発表会の持ち方、カードの作成方法については児童の実態にあわせて行う。	・前時で使ったカード
○【STORY TIME】 「思い出のアルバムを作ろう」 p 56 ・デジタル教材からライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。	・読んでいる文字を押さえながら読むようにする。 ・ライム（押韻）している単語を読み出す。 (-ine)	・デジタル教材
○Sounds and Letters「アルファベットを書こう。」 ・参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。	・児童の実態にあわせて、1～3文字程度書く。	・ワークシート
○振り返り ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする	・振り返りカード

6 年一単元 10 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 (『We Can! 2』Unit8)

1. 単元目標、

- ・積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。【コ】
- ・どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。【慣】
- ・世界には様々な夢を持つ同年代の子どもがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。【気】

2. 単元評価規準

- ◎様々な職業についての言い方を理解する。
- ◎職業について表す語彙について英語と日本語のでているところと違うところに気づくことができる。
- ◎将来の夢について尋ねたり答えたりすることが得きる。
- ◎将来の夢や、就きたい職業についてその理由も合わせて、話したり聞いたり、伝え合うことができる。

3. 表現

- ・ I like (basketball). I want to join the (basketball team). What club do you want to join? I want to enjoy (sports day). What event do you want to enjoy? I want to [study hard / read many books / make many friends].

○ member, team, club, practice, join, junior, us, event, uniform, test, all, whale

[既出]動作、身の回りの物、スポーツ、職業、日課、曜日、状態・気持ち、行事、教科など

4 単元計画 (4 時間)

時	目標と主な活動	コ 慣 気 評価規準＜方法＞			
1	◆ 様々な職業の言い方を知る。 ・ 「ジェスチャークイズ」 ・ 「ビンゴゲーム」 ・ 「ポインティングゲーム」 ・ 《WC2-U8》【Let's Chant】 “What do you want to be?”		○		◎様々な職業についての言い方を理解する。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉
2	◆ 様々な職業の言い方に慣れ親しみ、職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付く。 ・ (WC2-U8) 【Let's Chant】 “What do you want to be?” ・ 「ラッキーカードゲーム」 ・ (WC2-U8) 【Let's Listen】 「だれの夢か、考えよう。」 ・ 「ミッシングゲーム」		○		◎職業について表す語彙について英語と日本語で似ているところと違うところに気づくことができる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉
3	◆ 将来、就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・ (WC2-U8) 【Let's Chant】 “What do you want to be?” ・ (WC2-U8) 【Let's Watch and Think 3】 「将来の夢についてわかったことをかこう。」 ・ チェーンゲーム」 ・ (WC2-U9) 「ポインティングゲーム」 ・ 【Activity】 「あなたの『夢宣言』をしよう。」 (準備)	○	○		◎将来の夢について尋ねたり答えたりすることが得きる。〈行動観察・記述で察・振り返りカード点検〉
4	◆ 相手意識を持って自分の夢を紹介しようとする。 ・ (WC2-U8) 【Let's Chant】 “What do you want to be?” ・ 【Activity】 「あなたの『夢宣言』をしよう」 ・ (WC2-U8) 【STORY TIME】	○			◎将来の夢や、就きたい職業についてその理由も合わせて、話したり聞いたり、伝え合うことができる。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉

What do you want to be?

1/4 時間

目 標 様々な職業の言い方を知る。

準 備 デジタル教材, 教師用カード児童用カード, 振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準 備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。 (Hi, friends! Plus ジングル)	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて, バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 ・ワークシート
○「ジェスチャークイズ」 ・指導者は様々な職業をジェスチャーで表し, それらが何か尋ねる。児童から答えを引き出しながら, 職業を表す語の言い方を紹介する。また, その職業に就きたいかどうか尋ねる。	・指導者は小学校 6 年生だった頃の夢をジェスチャーで示し, それがどんな夢かたずね, 児童に職業を推測させる。その後, 様々な職業を同じようにジェスチャーで当てさせる。 ・外来語とそのもととなる英語とでは, 音が違うことに気付かせるようにする。	
○「ビンゴゲーム」 ・児童は巻末児童用絵カードを切り取り, 3×3 列に机上に並べ, ビンゴシートを作る。 ・指導者が言う職業の絵カードがあれば裏返しにする。縦横斜めに絵カードが裏返れば, ビンゴと言う。	・指導者が言う職業名を繰り返し言いながら, その絵を探させるようにする。	・児童用絵カード (職業)
○「ポインティングゲーム」 ・児童はペアになり, 《WC2-U8》P59 【Let's Watch and Think 1】 誌面でゲームをする。 ・指導者が言う職業を聞いて, テキスト誌面にあるその職業の絵を指さす。はやく指さしたほうが勝ち。	・慣れてきたら, 職業を 2 つ連続して言い, あとに言った職業の絵をさし示させるようにする。また, さし示した指をそのまま残して競争させる。	児童用教材 デジタル教材
○ (WC2-U8)) 【Let's Chant】 "What do you want to be?" ・音声聞き, 絵カードを見ながら言う。 ・別の職業に替えて, 一緒に言う。	まず, チャンツを聞かせ, どのような音が聞こえたかを発表させる。聞こえた語を児童と確認してから, 一緒にチャンツを言う。	デジタル教材
○Sounds and Letters ・参考例に習って, 四線上のグレーのアルファベットの文字を形に注意しながら, なぞる。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて 1 ~ 3 文字程度書く。 ・授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・感想を発表する。 ・挨拶をする	振り返りカード

What do you want to be? 2/4 時間

目 標 ○様々な職業の言い方に慣れ親しみ、職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付く。

準 備 デジタル教材、教師用カード、児童用カード、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準 備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。 ○《WC2-U8》【Let's Chant】“What do you want to be?” ・ 音声を聞き、絵カードを見ながら言う。 ・ 別の職業に替えて、一緒に言う。	・ 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・ デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・ 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・ デジタル教材
○「ラッキーカードゲーム」《WC2-巻末付録》 ・ 児童はグループになり机の回りに座る。自分の前に絵カードを並べる。 ・ 1 番の児童が 2 番に What card do you want?と尋ねる。2 番の児童は～, please.で答え、そのカードをもらう。これを順番に繰り返す。 ・ ゲーム終了時に、指導者はあらかじめラッキーカードとして決めておいた職業を発表する。そのカードを持つ児童が勝ち。	・ ゲームの前に、職業に関する語彙を復習させる、確認する。 ・ 指導者は、代表児童や英語指導員とデモンストレーションをしてみせる。	児童絵カード（職業）
《WC2-U8》【Let's Watch and Think 2】「将来の夢についてわかったことをかこう。」 1 回目 ラクシュ 2 回目 クリスティーナ	・ Let's Watch and Think 2 は第 2 時、Let's Watch and Think 3 は第 3 時に行う。どちらも、外国の子供の夢を聞いて分かったことを書くという活動である。 ・ 第 1 時の Let's Watch and Think1 で行った指導と同様、音声を聞かせる前に内容を予想させる。	・ 教師用絵カード
【Let's Listen】「だれの夢か、考えよう。」 ・ 児童は音声教材を聞いて、誌面の子供たちの将来の夢を聞き取る。 ・ 分かったことを表に記入する。	・ 登場人物がどんな夢をもっているかを予想させてから聞かせるなど、目的をもって聞くことができるようにする。 ・ 3 人の登場人物が将来の夢とその理由などを話している音声を聞かせ、分かったことを表に書かせる。	・ デジタル教材
○Lets Read and Write. (言葉を書き写そう) ・ 将来の夢について書こう。 ・ 音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 ・ 書く文例：I want to be (a pilot.) ○ふり返し ・ 振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。	・ 児童の実態に合わせて書く。 ・ 授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・ 文例（ ）にあたる部分を書き写す。 ・ 感想を発表する。 ・ 挨拶をする	・ ワークシート 8-1 ・ 振り返りカード

What do you want to be? 3/4 時間

目 標 世界には様々な夢を持つ同年代の子供がいることに気が付き、就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準 備 デジタル教材、教師用カード、児童用カード、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準 備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。 ○ (WC2-U8) 【Let's Chant】 “What do you want to be?” ・ 音声を聞き、一緒に合わせて言う。	・ 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・ デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・ 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・ デジタル教材
○ (WC2-U8) 【Let's Watch and Think 3】 「将来の夢についてわかったことを書こう。」 ・ デジタル教材を視聴して、登場人物の将来の夢に関する話から、分かったことを表に書く。 1回目 リン 2回目 フランシス	・ 指導の仕方や留意点については、第2時の Let's Watch and Think と同様。 ・ 映像視聴の流れで、次の児童とのやり取りにつなげる。	- デジタル教材 - 児童用テキスト
○ 【Activity】 P61 「チェンゲーム」 ・ 児童は5, 6人1グループで1列に並ぶ。 ・ 先頭児童は列2番目の児童に “What do you want to be?” と尋ねる。2番目の児童は “I want to be ~.” と答える。 ・ 次に3番目児童が2番目児童に尋ね、2番目児童が答える。 ・ これを繰り返す、最後尾の児童は、全員の答えも含めて自分の答えを言う。		
○ 【Activity】 『夢宣言』をしよう。(準備) 「Hi, friends ! 2」 P38～40 ・ さくら、たく、アレクシそれぞれの夢を推測させてから、音声教材を聞かせ、分かったことを空欄に書かせる。 ・ 児童は就きたい職業について2つ～3つ程度のヒントを考えて、発表の準備をする。 ・ 発表の練習をする。 (例文) - ヒント1:I like sports. - ヒント2:I like soccer. - ヒント3:I want to join the soccer club.	・ 指導者は、次時に、この音声を参考にそれぞれが「夢宣言」をすることを告げ、その準備をすることを告げる。 ・ 「Hi, friends ! 2」 P38～40 の夢宣言を聞いて参考にさせる。	教師用絵カード
○ Sounds and Letters 「アルファベットを書こう」 ・ 参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字を形に注意しながら、なぞる。 ・ 振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。	・ 児童の実態に合わせて、1～3文字程度書く。 ・ 授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・ 感想を発表する。 ・ 挨拶をする	振り返りカード

What do you want to be? 4/4 時間

目 標 世界には様々な夢を持つ同年代の子供がいることに気付き、就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準 備 デジタル教材、教師用カード、児童用カード、振り返りカード

児童の活動	指導者の活動	準 備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。 ○ (WC2-U8) 【Let's Chant】 “What do you want to be?” ・ 音声を聞き、一緒に合わせて言う。	・ 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・ デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・ 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・ デジタル教材
○ 【Activity】 『夢宣言』 をしよう。 ・ 『夢宣言』 をしようをクイズ形式で行う。 ・ 1 グループ対1 グループで、クイズ形式で就きたい職業を紹介する。 【発表の例】 A: 発表児童 B: 発表を聞いて夢を当てるグループの児童 A: I like sports. I like soccer. I want to join the soccer club. B: A soccer player? A: That's right. I want to be a soccer player. B: どうしてですか。 A: サッカー選手になって、世界の選手と友達になり、サッカーで平和な世界にしたいからです。 B: Nice dream. Good luck. You can do it. A: Thank you.	・ 意欲的に取り組めるように、学級で人気が高いと思われる職業ベスト3を予想してからインタビューを始めさせたり、活動後にインタビュー結果を報告させたりするとよい。 ・ インタビューではあるが、就きたい職業だけを尋ね合うのではなく、理由を聞いたり、感想を述べたりなど、これまでの対話活動で大切にしてきた「対話を続けること」「対話を楽しむこと」を、本活動でも大切にするよう伝える。	デジタル教材 児童用テキスト
○ 《WC2-U8》 【STORY TIME】 P65 ・ 文字を見ながらデジタル教材の音声を聞き、音声のあとについて言う。 ※読んでいる文字を押さえながら読むようにする。 ※時間があれば実施する。		デジタル教材
○ Lets Read and Write. (言葉を書き写そう) ・ 将来の夢について書こう。 ・ 単語と単語の間をあけて、一文全部を書き写す。 ・ 書く文例: I want to be a singer. ○ 振り返り ・ 振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。	・ 児童の実態に合わせて書く。 ・ 授業で扱っている語彙や表現に出てくる文字を書く。 ・ 文例参考に一文を書き写させる。 ・ 感想を発表する。 ・ 挨拶をする	・ ワークシート 8-4 ・ 振り返りカード

1. 単元目標

- ・中学校の部活動や学校行事などについて、聞いたり言ったりしようとする。【コ】
- ・中学校の部活動や学校行事などについて伝え合ったり、中学校生活について書かれている英語を推測しながら読んだりしようとする。【慣】
- ・他者に配慮しながら、中学校生活について伝え合おうとする。【コ】

2. 表現

I like(basketball).I want to join the(basketball team).What club do you want to join?

I want to enjoy(sports day).What event do you want to enjoy? I want to [study hard/read

Many books/make many friends].

Member, team, club, practice, join, junior, us, event, uniform, test, all, whale

[既出]動作,身の回りの物,スポーツ,職業, 日課,曜日,状態・気持ち,行事,教科など

単元計画 (6時間)

時	目標と主な活動	
1	◆中学校生活の部活動についての話を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。 ○Small Talk : (話題は自分たちで選ぶ) 【Let's Watch and Think1】 p.66,67 ・映像を見て、感想や分かったことを発表する。 【Let's Watch and Think2】 p.68 ・中学生が、中学校生活(部活動)について話すのを聞き、「部員数」「練習日」を聞き取って、誌面に記入する。 【Let's Listen1】 p.68 ・小学生が、中学校で入りたい部活動について、その理由も含めて話しているのを聞いて分かったことを誌面に記入する。	◎中学校生活の部活動についての話を聞いて、必要な情報を聞き取り記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 ◎入りたい部活動についての話を聞いて必要な情報を聞き取り記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉
2	◆中学校生活の学校行事についての話を聞いて、おおよその内容がわかり、入りたい部活動を伝えようとしている。 ○どんな部活動があるか知ろう。 ・誌面にある部活動を発表し、部活動の言い方を知る。 【Let's Talk】 ・ペアで、中学校で入りたい部活動を伝え合う。 【Let's Watch and Think3】 p.69 ・中学生が学校行事について話す映像を見て、聞き取れた語を発表する。 ○キーワード・ゲーム 【Let's Listen2】 p.69 ・小学生が、中学校の行事で楽しみにしているものについて、その理由も含めて話しているのを聞いて分かったことを誌面に記入する。 ・指導者とやり取りしながら、答えを確認する。 【Let's Read and Write】 ①p.72	◎入りたい部活動を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎学校行事についての話を聞いておおよその内容がわかり、誌面に記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉
3	◆中学校の先生たちについてのスピーチを聞いて、内容が分かるとともに、楽しい学校行事を伝えようとしている。 ○Small Talk : (話題は自分たちで選ぶ) 【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school?p.67 ○Let's Talk ・指導者の質問に答える。 ・ペアで、楽しい中学校行事を伝え合う。 【Let's Watch and Think4】 p.70 ・中学校の先生について話を聞き、分かったことを誌面に記入する。 【Let's Listen3】 p.71 ・小学生が、中学校の先生について話している。分かったことを誌面に記入する。 【Let's Read and Write】 ②p.72 書く文例: I want to enjoy (Sports Day). ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。	◎楽しい中学校行事を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎中学校の先生についてのスピーチを聞いて内容が分かり、記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉

4	◆中学校生活の部活動や学校行事について尋ねたり答えたりしている。 【Let's Chant】What do you want to do in junior high school? p.67 【Let's Watch and Think2~4】 p.68~70 - 今まで視聴してきた中学生のインタビュー（部活動，学校行事，先生に関するものを再度内容を確かめながら聞く。） ○Let's Talk - ペアで中学校の学校行事や部活動について尋ねたり，答えたりする。ペアを替えて繰り返す。 【Let's Read and Write】③p.72 書く文例：He is a(n) (English teacher). - 音声を聞きながら読んだ（言った）後，ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 ○Sounds and Letters (wh)	◎中学校生活の部活動や学校行事について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
5	◆中学生のスピーチを聞いて小学校との違いに気付く。 ◆中学校での部活動や学校行事などについて伝え合おうとしている。 ○Small Talk：（話題は自分たちで選ぶ） 【Let's Chant】What do you want to do in junior high school? p.67 【Let's Watch and Think5】 p.70 - 中学生のスピーチの映像を見て，小学校と中学校の違いについて分かったことを誌面に記入する。 【Let's Listen4】 p.71 「入部したい部活動」「楽しみな行事」「その理由」を開き取って，誌面に記入する。 【Let's Play】p.70 - 教室を歩いて回り，前活動でペアにならなかった友達とペアになり，入部したい部活動，楽しみな行事，その理由について尋ね合い，分かったことを誌面に記入する。 【Let's Read and Write】④p.72 書く文例：What club do you want to join? I want to join the (club). - 音声を聞きながら読んだ（言った）後，ワードボックスから言葉を選んで書き写す。	◎中学校のスピーチを聞いて小学校との違いを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 ◎中学校での部活動や学校行事などについて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
6	◆中学校生活の部活動や学校行事について，スピーチをしようとする。 【Let's Chant】What do you want to join junior high school? p.67 【Let's Listen4】 p.71 - 前回到続いて再度聞き，次のスピーチづくりに役立てる。 【Activity】 p.72 - 音声を聞いて，内容を理解する。 - 音声に続いて，児童用テキスト p.72 に掲載されている英文を指で追いながら言う。 【Activity】 p.72 - 各自スピーチをする。 - 聞き手は感想の言葉を付け加えたり，質問をしたりしながら聞く。 【STORYTIME】 p.73 - デジタル教材からライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 - 音声の後に続いて言う。	◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれている文を推測しながら読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎例を参考にして，中学校生活についての期待を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 ◎他者に配慮しながら，中学校生活について，入部したい部活動や楽しみな学校行事とその理由を発表している。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎短い話を聞いて内容を理解し，英語の音を意識して読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉

Junior High School Life. 1/6 時間

目標：中学校生活の部活動についての話を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。

準備：デジタル教材、ふり返しカード

児童の活動	指導者の活動	準備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
○Small Talk 指導者の話を、反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・1年間のまとめの時期であることを踏まえ、今まで定着が不十分と思われる言語材料を選んで話題を決めたり、児童たちに話題を決めさせたりする。その上で、指導者が質問をして、ペアで対話をさせる。 ※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p. 84, 85 を参照。	
【Let's Watch and Think1】 p.66, 67 ・映像を見て、感想や分かったことを発表する。 ・聞こえた英語を答えたり、中学校生活について指導者とやり取りしたりする。	・日本の中学校生活の映像を視聴させ、中学校生活への興味を高める。 ・まず1度すべてを通して視聴させ、感想を発表させる。映像の説明で使われている英語は、難しい部分があったり、既習表現ではない部分があったりする。説明のすべてを理解しなくてもよいこと、おおよその内容、例えばどんな授業があって、どのような部活動があるのか、体育祭ではどのようなことをするのかなどが聞き取ればよいことを伝える。今は全てが分からなくても、外国語の学習を継続することで、これらの英語が分かるようになることも伝え、中学校生活への期待感を高めるようにする。そうすることで、本単元最終のスピーチにつなげる。	・デジタル教材
【Let's Watch and Think2】 p.68 ・中学生が、中学校生活（部活動）について話すのを聞き、「年齢」「部活」「部員数」「練習日」を聞き取って、誌面に記入する。	・続いて、1日入学に訪れた小学生に、中学生が中学校生活について話している様子の映像を視聴することを伝える。まず、通して視聴させる。 T: Junior high school students are talking about club activities. Let's listen to the talk. ・児童の実態に合わせて、サッカークラブ、理科クラブ、バレーボールクラブを分けて視聴させ、どのような語が聞こえたかを尋ねるとよい。児童が分かったという達成感ももてるよう、数回視聴させる。 ・単に答え合わせとならないよう、中学校の部活動を題材に児童とやり取りをする。	・デジタル教材
【Let's Listen1】 p.68 ・小学生が、中学校で入りたい部活動について、その理由も含めて話しているのを聞いて分かったことを記入する。	・この活動を通して第7時と第8時のスピーチ活動へのイメージをもたせるようにする。 T: Let's listen to Kosei's speech.	
○振り返り ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・感想を発表する。 ・挨拶をする	ふり返しカード

Junior High School Life. 2/6 時間

目標：中学校生活の学校行事についての話しを聞いておおよその内容がわかり、入りたい部活動を言うことができる。

準備：デジタル教材、ワークシート、教師用絵カード

児童の活動	指導者の活動	準備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
○どんな部活動があるか知ろう。 ・誌面にある部活動を発表し、部活動の言い方を知る。	・誌面 p. 66, 67 を開けさせ、どのような部活動があるかを発表させる。その際、部活動の言い方をデジタル教材で確かめて聞かせる。それを受けて、部活動について児童とやり取りをしながら、教師用カードを黒板に掲示する。 ・児童に Do you want to join the ~ club/team? What club do you want to join? と尋ねこれらの表現や答え方に慣れ親しませ、次の活動につなげる。	
【Let's Talk】中学校で入りたい部活動をペアで伝え合う。 S3: I want to join the basketball team. How about you? S4: I want to join the brass band.	・前活動の流れで、ペアで入りたい部活動を伝え合わせる。 ・相手を替えて繰り返させる。	
【Let's Watch and Think3】 p.69 ・中学生が学校行事について話す映像を見て、聞き取れた語を発表する。	・視聴させる前に、誌面 p. 69 にある学校行事の写真を見せ、それらが何の行事か小学校の行事とどんなところが違うかを考えさせる。1 日入学に訪れた小学生が、中学校行事について話を聞く映像を視聴することを伝える。まず、通して視聴させる。 - T: Junior high school students are talking about school events. Let's listen to the talk.	・デジタル教材
○キーワード・ゲーム ・行事を表す語で行う。		
【Let's Listen2】 p. 69 ・小学生が、中学校の行事で楽しみにしているものについて、その理由も含めて話しているのを聞いて分かったことを誌面に記入する。	・はじめに指導者と何人かの代表児童で活動を行い、表現に慣れさせるようにする。 “What is your best memory?” “My best memory is”	デジタル教材
○Sounds and Letters ・参考例に習って、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。 ○振り返り ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、1～3 文字程度書く。 ・感想を発表する。 ・挨拶をする	・ワークシート ・振り返りカード

Junior High School Life. 3/6 時間

目標：中学校の先生達についてのスピーチを聞いて、内容が分かったと共に、楽しみな学校行事を言うことができる。

準備：デジタル教材，教師用絵カード（行事）

児童の活動	指導者の活動	準備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
○Small Talk : ・指導者の話を、反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。	・既習の表現を使って担任と ALT、児童同士で短い会話をする。 ・一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 ※small talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p84, p85 を参照。	
【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school?p.67	・一緒にチャンツを言う。	
○Let's Talk ・指導者の質問に答える。 ・ペアで、楽しみな中学校の学校行事を伝え合う。 S1: What school event do you want to enjoy? S2: I want to enjoy the field trip. S1: Great! S2: How about you? S1: I want to enjoy sports day. S2: Nice.	・児童用テキスト p.69 を開かせ、指導者が言う行事をさし示すよう指示する。行事の言い方を確認したところで、数名の児童と行事についてやり取りをする。 T: S1, what school event do you want to enjoy? S1: Summer vacation. T: Good. You want to enjoy summer vacation. Do you like summer? S1: Yes, I do. T: Me, too. S2, what school event do you want to enjoy? S2: I want to enjoy the field trip. T: The field trip, I see. Now it's your turn. Please talk about the school events in pairs. ・次にペアで楽しみな中学校行事を伝え合うよう言う。相手を替えて繰り返させる。	
【Let's Watch and Think 4】 p.70 ・中学校の先生について話を聞き、分かったことを誌面に記入する。	・中学生が、1 日入学に訪れた小学生に中学校の先生について話をしている様子を視聴することを伝える。 T: Let's listen to the speech.	・デジタル教材
【Let's Listen 3】 p71 ・小学生が中学校の先生について話している。分かったことを誌面に記入する。	・映像資料で登場人物のさきが、中学校の先生についてスピーチするのを聞くことを告げる。 T: Please listen to the speech. ・単に答え合わせにならないように、中学校でどのようなことをしたいかを題材に児童とやり取りをする。	
○Let's Read and Write. 「文字を書き写そう。」 ・参考例に習って、文字の形に注意しながら、なぞったり、書き写したりする。 ○振り返り ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、読んだり、書いたりする。 ・感想を発表する。 ・挨拶をする	・ワークシート *Unit9-2 ・振り返りカード

Junior High School Life. 4 / 6 時間

目標：中学校生活の部活動や学校行事について尋ねたり、答えたりする。

準備：デジタル教材，ワークシート

児童の活動	指導者の活動	準備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus シングル)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材
【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school? p.67	・一緒にチャンツを言う。	
【Let's Watch and Think 2-4】 p.68~70 ・今まで視聴してきた中学生のインタビュー（部活動，学校行事，先生に関するもの）をもう1度内容を確認しながら聞く。	・これまでに視聴した中学生のスピーチを再度視聴させ、内容を確認するよう言う。 T: Let's watch the video again.	
○Let's Talk ・指導者の質問に答える。 ・ペアで中学校の学校行事や部活動について尋ねたり、答えたりする。ペアを替えて繰り返す。 S1: What club do you want to join? S2: I want to join the newspaper club. S1: Great! S2: What school event do you want to enjoy? S1: I want to enjoy the school trip.	・数名の児童と 中学校の部活動や学校行事についてやり取りをする。 T: S1, what club do you want to join? S1: Science club. T: Good. S2, what school event do you want to enjoy? S2: I want to enjoy the field trip. T: Good. Now it's your turn. Let's talk about clubs and events in junior high school in pairs.	・デジタル教材
○Let's Read and Write. 「文字を書き写そう。」 ・参考例に習って、文字の形に注意しながら、なぞったり、書き写したりする。 ○振り返り ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の実態に合わせて、読んだり、書いたりする。 ・感想を発表する。 ・挨拶をする	・ワークシート *Unit9-3 ・振り返りカード

Junior High School Life. 5 / 6 時間

目標：中学生のスピーチを聞いて、小学校との違いに気付く。

中学校での部活動や学校行事などについて伝え合う

準備：デジタル教材、ワークシート

児童の活動	指導者の活動	準備
○挨拶をする。 ○アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi.friends!Plus シングル)	- 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 - デジタル教材でチャンツを視聴しながら、音声に合わせて言う。 - 児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	デジタル教材
○Small Talk：小学校の思い出 指導者の話を、反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。	1年間のまとめの時期であることを踏まえ、今まで定着が不十分と思われる言語材料を選んで話題を決めたり、児童たちに話題を決めさせたりする。その上で、指導者が質問をして、ペアで対話をさせる。 - 既習の表現を使って担任とALT、児童同士で短い会話をする。 ※small talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p84, p85 を参照。	
【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school?p.67	一緒にチャンツを言う。	デジタル教材
【Let's Watch and Think 5】 p.70 中学生のスピーチの映像を見て、小学校と中学校の違いについて分かったことを誌面に記入する。	- 視聴させる前に、中学校生活と小学校生活の違いはないかと問いかける。これまで中学校生活を話題にしてきたことに触れながら児童に予想させ、視聴への意欲をもたせる。 - 中学生2人が中学校生活について話している映像資料を視聴し中学校生活と小学校生活の違いを考えるよう伝える。 - T: Listen to the speeches. Junior high school students are talking about their school life.	デジタル教材
【Let's Listen 4】 p.71 - みんなの前で話している小学生のスピーチを視聴する。 「入部したい部活動」「楽しみな行事」「その理由」を聞き取って、誌面に記入する。 - 指導者とやり取りしながら、答えを確認する。	- 理由の言い方について着目させながら、繰り返し聞かせる。 - 単なる答え合わせとならないように、また、児童がこの後スピーチの内容を考える際の参考となるように理由の部分を中心に分かったことを児童から引き出すようにする。そこで、画面に登場人物を映し、指導者がその人物の立場になって回答を確認する。 - T: Let's check the answers. - I'm Mark. I want to join...? - I like...? I'm good...? - I want to be a...?	デジタル教材
【Let's Play】 p.70 教室を歩いて回り、前活動でペアにならなかった友達とペアになり、入部したい部活動、楽しみな行事、その理由について尋ね合い、分かったことを誌面に記入する。	数名の児童と例を示す。	
○Let's Read and Write. 「文字を書き写そう。」 - 参考例に習って、文字の形に注意しながら、なぞったり、書き写したりする。 ○振り返り - 振り返りカードに記入する。 - 挨拶をする。	- 児童の実態に合わせて、読んだり、書いたりする。 - 感想を発表する。 - 挨拶をする	- ワークシート *Unit9-4 ・振り返りカード

Junior High School Life. 6/6 時間

目標：中学校生活の部活動や学校行事について、スピーチをしようとする。
短い話を聞いて内容を理解し、英語の音を意識して読もうとする。
準備：デジタル教材、ワークシート

児童の活動	指導者の活動	準備
○挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	・デジタル教材
【Let's Chant】 What do you want to do in junior high school?p.67	・一緒にチャンツを言う。	・デジタル教材
【Let's Listen 4】 p 7 1 ・前回に続いて再度聞き、スピーチに役立てる。	・指導者は、ここで聞くスピーチが児童のスピーチのモデルになることを伝え、内容を理解しながらよく聞くように指示する。 T: Listen to the speeches again.	・デジタル教材
【Activity】 p.72 ・音声を聞いて、内容を理解する。 ・音声に続いて、児童用テキスト p.72 に掲載されている英文を指で追いながら言う。		
【Activity】 p.72 中学校生活についてのスピーチをしよう ・今まで書き写したワークシートを参考に、中学校生活について、自分が入部したい部活動や楽しい学校行事についてスピーチをする。	発表会の持ち方、アルバムの作成方法については児童の実態にあわせて行う。	・ワークシート
○【STORY TIME】 p73 ・デジタル教材からライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。	・読んでいる文字を押さえながら読むようにする。 ・ライム（押韻）している単語を読み出す。	・デジタル教材
○振り返り ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする	・振り返りカード

2019 年度 那覇市小学校外国語活動 指導案例集

2019 年度カリキュラム作成委員 教諭

所 属	氏 名	所 属	氏 名
真和志小学校	新城 秀樹	壺屋小学校	ウィルキンソン麻子
真地小学校	山里 莉央	天久小学校	岸本 綾乃
銘苅小学校	武村 美香	石嶺小学校	亀川 智洋
若狭小学校	與那覇 綾子		

那覇市教育委員会 指導主事	名嘉 めぐみ
那覇市立教育研究所 指導主事	金城 里子